

第五十九回帝國議會
衆議院

電氣事業法改正法律案委員會會議錄(速)第二回

付託議案

電氣事業法改正法律案(政府提出)

會議

昭和六年三月九日(月曜日)午後一時二十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 河西豐太郎君

理事 松尾 四郎君

理事 百瀬 渡君

理事 安田 正男君

理事 高見 之通君

理事 大野 伴睦君

藍川 清成君

道源 權治君

森 蠱昶君

向井 倭雄君

名川 侃市君

出席國務大臣左ノ如シ

遞信大臣 小泉又次郎君

出席政府委員左ノ如シ

遞信政務次官 中村啓次郎君

遞信參與官 福田 五郎君

遞信省電氣局長 富安 謙次君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

電氣事業法改正法律案(政府提出)

○河西委員長 是ヨリ開會致シマス

○小泉國務大臣 電氣事業法改正法律

案ニ付キマシテ御説明ヲ申上ゲマス、

本案ニ付キマシテハ本會議ニ於キマシ

テ、其趣旨トスル所ヲ簡單ニ申述ベテ
置イタルデアリマスガ、茲ニ改メテ御
説明ヲ附加ヘテ皆様ノ御協賛ヲ願ヒタ
イト存ジマス、現行電氣事業法ハ御承
知ノ如ク明治四十四年ニ制定セラレタ

モノデアリマシテ、其當時ハ電氣事業
ノ固定資産モ漸ク二億七千萬圓、落成
發電力ハ二十二萬四千「キロワット」ニ
過ギナカッタデアリマス、即チマダ其
發達ガ甚ダ幼稚ナル時代ノ電氣事業ヲ
對象トシテ制定セラレタモノデアリマ
シテ、其後兩度ノ改正ガ行ハレマシタ
ガ、是ハ極メテ部分的ナ改正デアッタ
ニ過ギマセヌ、隨テ現行法ハ要スルニ
電氣事業設備ニ必然的ニ伴フベキ危險
ヲ防止スル目的ト、事業ヲ保護助長ス
ル目的ノ外ニハ殆ド出テ居ナイデア
リマス、然ルニ電氣事業ハ爾來急激ナ
ル發達ヲ遂ゲマシテ、昭和四年ノ統計
ニ依リマスレバ、固定資産四十四億圓、
落成發電力三百二十萬「キロワット」ニ
達シ、資本額ニ於テ十六倍餘、發電力
ニ於テ十四倍餘トナツテ居ルデアリ
マス、又電燈數ノ如キモ人口百人ニ對
シ全國平均五十五燈、即チ二人ニ對シ
テ一燈餘ノ割合トナリ、更ニ電力ニ至
リマシテハ、次第ニ他種ノ動力ニ代リ、

盛ニ各種ノ産業ニ利用セラレテ居ルノ
ミデナク、電氣化學工業其他家庭電熱
等ニ使用セラレ、モノ益々多キヲ加ヘ
テ居ルデアリマス

斯ノ如キ異常ナル事業ノ發達ト、社
會公共トノ緊密ナル關係トニ對應シテ、
機宜ニ適シタ行政ヲ行ヒマスルニハ、
現行法ノ下ニ於テハ、到底十分之ヲ期
待スルコトガ出來ナイデアリマス、
此點ガ本改正案提出ノ理由ノ一デア
ルデアリマス

世人ヲシテ事業ノ無統制ヲ歎ゼシムル
ニ至ッタデアリマス、電氣事業ハ前ニ
モ述ベマシタ通り、一般産業ニ對シテ
動力ヲ供給スベキ使命ヲ有シ、其基礎
ヲ成ス事業デアリマスルガ故ニ、他ノ
事業ニ率先シテ統制ヲ行ヒ、依ッテ一般
産業ノ安定ニ貢獻シナケレバナラヌト
信ズルデアリマス

而シテ是ガ爲ニハドウ致シマシテ
モ、行政官廳ノ統一アル方針ニ基ク監
督權ノ發動ニ俟タナケレバナラナイノ
大ナル鑑ミマシテ、昭和二年以來先
ヅ準備トシテ、遞信省電氣局内ニ臨時
電氣事業調查部ヲ設ケ、必要ナル調査
ト資料ノ蒐集ヲ行ヒ、續イテ昭和四年、
前內閣久原遞相ニ依ッテ、臨時電氣事業
調查會ガ設置セラレマシテ、之ニ統制
方策ニ關スル諮問ヲ致シタルデアリマ
ス、調査會ニ於テハ、慎重審議ヲ重ネ
マシタ結果、昨年四月ニ至リマシテ、
事業統制ノ實行方策ノ一トシテ、右目
的ニ適スルヤウ電氣事業法ヲ改正スベ
キ旨ノ答申ヲ爲サレタルデアリマス

改正電氣事業法ハ、斯ノ如キ實際ノ
必要ニ基キ立案致シタモノデアリマシ
テ、案ノ骨子タル設備ノ合理化、料金

認可制ノ確立、其他電氣事業法ノ適用範圍ノ擴張、電氣委員會ノ設置等ニ關スル各條項ハ、何レモ臨時電氣事業調査會ノ答申ニ基イタモノデアリマス

其他、本改正ノ機會ニ於キマシテ、從來命令又ハ處分ニ委ネラレマシタ事項ヲ法律ヲ以テ規定スルヲ適當ト認メマシタ諸事項、及ビ字句ノ整理等、必要ナル修正ヲ行フ爲、全部改正ノ方針ヲ採ッタデアリマス

尙ホ法案ノ内容ノ各條ニ互リマシテハ、御質問ニ應ジマシテ、出來得ル限リ詳細ニ提案ノ趣旨ヲ明カニシタイト思ヒマス、大要御説明申上ゲマス

○清瀬委員 一昨日非正式ニ私カラ色材料ノ提出ヲ御願シテ置キマシタガ、ソレガ揃ヒマシタナラバ戴キタイ

○富安政府委員 事務局ノ方ニ廻シテアリマスカラ……

○向井委員 私ハ遞信大臣ニ數項目ニ互ッテ簡單ニ御尋致シタイノデアリマス

第一ハ今回ノ電氣事業法ノ改正法案ノ骨子ハ、取りモ直サズ、電力ノ統制ヲ圖ルト云フコトガ主要ナル目的デアルト考ヘルノデアリマス、電力ノ統制ヲ致シマスニハ、國有ニ致スコトガ完全ナル方法デアルト考ヘルノデアリマス、今回ノ法案ノ中ニモ、是等ノ統制ニ關スル規定ガアルノデアリマス、此

規定ニ依リマシテモ、統制其モノハ完全ニハ行ハレ難イモノデハナイカト思フ、之ニ對シテ遞信大臣ハ電氣統制ノ目的ヲ完全ニ達成スル爲ニ、將來電氣事業ヲ國營ニ致ス御考ハアルカドウカト云フコトヲ第一ニ伺ッテ見タイト思フノデアリマス、御答辯ノ便宜上一問宛御答ヲ願ッテ後ハ簡單デアリマスカラ更ニ御伺致スコトニ致シマス

○小泉國務大臣 向井君ノ御質問ニ御答致シマス、電氣統制ノ必要ハ仰セノ通り本案ノ骨子デアアルノデアリマシテ、其完全ニ統制スルト云フ主義ヲ舉ゲルナラバ、國營ガ最モ理想的デ、一番統制シ易イデハナイカ、ソレニ付テ將來國營ノ意思ガアルカドウカ、斯様ナ御尋デアッタノデアリマス、理想ト致シマシテハ、全ク國營ガ統制上一番結構ナコトデアルト思ッテ居リマスノデ、遞信省ニ於キマシテハ、目下混亂致シテ居リマスル此電氣事業者間ノ、圓滿ニ統一ヲ圖ル爲ニ、本案ヲ提出致シタノデアリマスガ、現下ノ狀態ニ於キマシテハ、先ヅ本案ヲ第一著手ト心得マシテ、將來ノ事ハドウ云フコトニスルカト云フコトヲ考ヘテハ居リマセスガ、今後或ハ國營組織ニ依ッテ一手ニ國家的ニ大統制ヲ要スベキ發電事業ヲ營ムコトモ想像シ得ラレルノデアリマス、併シソレハ固ヨリ今後ノ事デアリマシテ、

慎重ニ調査研究ヲセネバナラヌト思ッテ居リマス、現ニ事業ヲ全部國營トスルカ、又最近獨逸等ニ於テ發達致シテ居リマス半官半民ヲ可トスベキカト云フ議論ハ、國民ノ或ル一部ニハ大分研究サレテ居ルヤウデアアル、現内閣ニ於キマシテハ、先ヅ差當リ本案ヲ實行致シマシテ、只今申上ゲタ電氣事業者間ノ混亂複雜セル現在ノ電氣事業ヲ統制シ、合理化セシメル、靜カニ其成績ヲ徵シマシテ、其上徐ニ國家的見地カラ考ヘマシテ、高遠ナ理想ノ研究ヲ致シタイト考ヘテ居リマス、之ヲ要スルニ目下ニ於キマシテハ、今直チニトカ、若クハ近キ將來ニ國營ニシナケレバナラスト云フ程度ニ、マダソレ程ノ調査ヲ進メテ居ラヌコトヲ申上ゲテ置キマス

○向井委員 次ハ電力ノ供給區域ノ問題ニ付テ御尋致シマス、供給區域ヲ如何ニスルカ、即チ言葉ヲ換ヘテ申シマスレバ、獨占ノ主義ヲ採ルカ、或ハ自由主義ヲ取ルカト申シマス、電氣事業ノ發達ト申シマス、電氣事業ノ上ニハ非常ナル關係ヲ持ツモノト考ヘルノデアアル、御承知ノ通り此問題ハ、漸次電氣事業ノ調査會ニ於キマシテモ、獨占ノ主義ヲ採ルト云フコトガ、多數ノ意見デアッタヤウニ考ヘラレルノデアリマス、今回ノ法案ノ中ニハ此骨子

トナッテ居リマス供給區域ノ問題ニ付テハ、何等ノ規定ガナイヤウニ存ズルノデアリマス、此重大ナル基礎的ノ大問題ガ、法案ノ中ニ規定ガナイト申シマスコトハドウ云フ譯デアアルカ、料金ヲ認可制ニ致ス此問題モ、電氣事業調査會デモ認可制ヲ可トスルト云フコトニナッテ居ッタヤウニ考ヘルノデアリマスガ、私共ハ問題ニ付テハ色々ナ議論ハアリマセウガ、私ハ敢テ認可制ニスルコトニハ反對デハナイ、併ナガラ此認可制ト云フコトハ、一方ニ於テ供給區域ヲ大體ニ於テ獨占ノ主義ヲ採ッテ初メテ認可制ト云フモノガ意義ヲ爲スモノデハナイカト思フノデアリマス、獨占セシムルガ故ニ、一方ニ於テハ料金ノ不當ヲ戒シメ、權衡ヲ保タセル爲ニ、認可ノ制度ヲ採ルト云フコトニナラナケレバ、此料金ノ認可制ノミガ法案ノ中ニ規定ガアリマシテ、供給區域ノ問題ガ規定ガナイト云フコトハ何ダカ異様ニ感ズルノデアリマス、此供給區域ノ問題ニ付テ法案ノ中ニ規定ガナイノハ如何ナル理由デアアルカト云フト、認可制ト供給區域トハ相竝ンデ行ハレルモノデアアル、竝行スルモノデアルト云フ御考デアアルヤ否ヤ、此點ヲ簡單ニ御伺致シマス

○小泉國務大臣 御答致シマス、電氣事業調査會ニ於キマシテハ、供給區域

事業調査會ニ於キマシテハ、供給區域

ニハ獨占ヲ原則トスル、此趣意ニ基キマシテ、一供給區域ニ一事業者ヲ經營サセル、即チ之ヲ具體的ニ申上ゲマスレバ、即チ獨占ヲ原則トスル、併ナガラ其獨占ニ付テ需要供給等ノ調節ヲスル爲メ、若クハ弊害ガナイカモ存ジマセヌガ、獨占ノ弊害アリタル場合ヲ考慮致シマシテ、特定供給ト云フ、特定認可ヲスルコトニ相成ツタ答申ガ參ッテ居ルノデアリマス、而シテ之ヲ法文ニ明記シナカッタ理由ハ、供給區域ヲ獨占スルト云フ斷定的ノ事デアリマスルナラバ、是ハ法規ニ掲グルコトガ相當ト存ズルノデアリマスガ、其需給ノ調節ノ政策トデモ申シマスルカ、方法トデモ申シマスルカ、ソレヲスル爲ニハ、特定供給ヲ許スト云フヤウナ其處ニ但書カ、若クハ政策ニ關シタコトヲ入レマ

スルコトハ、ドウモ法文ノ精神ガ複雑ニナルト云フヤウナ考ヨリ致シマシテ、御尋ノ通りノ趣意デアリマスケレドモ、法規ノ上ニハ獨占トカ若クハ特定供給ヲ許スト云フヤウナ條項ヲ省イタ次第デアリマス、之ヲ要シマスルノニ大體ノ説明ヲ申上ゲマシタ通り本案ハ臨時電氣事業調査會ノ慎重審議ノ結果、其答申ニ基キマシテ組立テタル案デアリマスルカラ、案ノ内容ハ今申上ゲマシタ通り、電氣事業ノ供給區域ニハ獨占ヲ原則トシテ、而シテ之ニ對シテハ特定供給ヲ許可スル、斯様ナ意味ヲ含ンデ居ルノデアリマシテ、法文ニハ明記シテアリマセヌガ確ニ其精神ヲ、遞信省ハ進ミタイト考ヘテ居リマス。

○向井委員 只今ノ御答デ大體分リマシタガ、然ラバ斯ウ云フ意味デアリマスカ、原則トシテハ獨占ノ主義ヲ採ルガ、絕對ト云フコトニ至ラナイノデ、或ル特殊ノ場合ニ於テハ獨占區域ヲ侵スヤウア場合ガアツテ、立法技術ノ上ニ於テ法文ニ書現ハスコトガ困難デアルカラ其積リデヤル考デアアル、斯ウ云フ御答ノヤウニ伺ッタノデアリマスガ、左様ニ心得マシテ宜シウゴザイマスカ、ソレカラ次ニ今ノ供給區域ノ獨占問題ハ、唯行政ノ處分ノ上ノ取扱ノ手心ニ於テト云フコトデゴザイマスカ、何カ勅令、其他ノ命令ヲ以テ御規定ニナル積リデアリマスカ

○小泉國務大臣 只今御答致シマシタ通り、法文ノ上ニアリマセヌデモ、其調査會ノ答申ニ基イテ立案致シマシタ本案デアリマスルカラ、其基礎ト云フモノハ永久ニ酌取ツテ此法案ヲ施行スルコト、存ジテ居リマス、之ニ依リマシテ只今ノ所ハ、勅令トカ、命令ト云フ方ノ明文ニ掲ゲルト云フ意思ヲ持ッテ居リマセヌ

スガ現在ノ狀態デハドウモ絕對獨占ト云フコトハドウデアアルカ、時期ガ少シマダ早クハナイカ、此混亂シテ居リマス、複雑シテ居リマス事業界ヲ先ヅ一遍統制致シマシテ、實際ニ統制ノ實ガ舉ル時ニ於キマシテハ、理想ニ基イテ獨占ト云フコトニ限定シテ宜イカト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、現在ノ狀態ニ於キマシテハマダ獨占的ニ確立スルコトハドウデアアルカ、ソレニハ多少ノヤハリ特定供給、即チ露骨ニ、具體的ニ申シマスナラバ、多少ノ其處ニハ競爭ト云フ意味ヲヤハリ含ンデ居ラナケレバ此複雑ナル事業界ヲシテ益、ドウモ混亂狀態ニ陷レル、ソレハ即チ行政ノ微妙ナル裁キニ依ッテ必ズ理想ノ通り統制ハシ得ラレル、斯様ニ考ヘテ立案致シタ次第デアリマス

○向井委員 私ハ實ハ遞信大臣ノ最初ノ御答デ略々了解ヲ致シテ居ッタノデアリマスルガ、今ノ御答ニ依リマスト少し疑ガ起ツテ參ッタノデアリマス、サウスルト獨占スルト云フコトガ主義デアアルガ、或ル特殊ノ場合ニ限ッテ許スヤウナ場合ガアルカモ知レナイケレドモ、ソレハ立法技術ノ上ニ於テ混亂スルカラ、法文ニ書カナカッタノデアアルト云フ最初ノ御言葉デアッタノデアリマス、今ノ御答ハ多少競爭ヲサセル方ガ宜イト云フヤウナ御話デアリマスガ、サウスルト其特殊ノ事情ト云フコトニ付テハドウ云フ場合ヲ言ハレルノデアアルカ、之ヲモウ一遍伺ヒタイト思ヒマス

○小泉國務大臣 只今ノ御答ノ仕様ガ惡カッタノカモ知レマセヌガ、供給區域ニ重複區域ヲ許スコトヲ避ケル爲ニ供給區域ハ、之ヲ獨占スルト云フコトヲ先ヅ原則ト致シマシテソレニハ先程申上ゲマシタ通り需給調節ノ必要モアリマスルシ、或ハ又獨占ノ弊害ヲ防止スルト云フコトモ考慮シナケレバナラヌノデアリマス、ソレデ特定供給ト云フ一ツノ便宜法トデモ申シマスカ、法律ノ事ハ能ク存ジマセヌガ、特定供給ト云フコトニナリマススト云フト、多少其處ニハ競爭的ノコトヲ加味シマスガ、競爭ハ目的ニ非ズシテ其需給ノ調節ヲスルト云フコトガ目的デアリマスカラ、飽迄モ其競爭ハ避ケタイト思ッテ居リマスガ、重ネテ御質問ガアルコト、存ジマシテ、實ハ特定供給ハ多少ノ競爭ヲ加味スルト云フコトヲ實ハ申上ゲタノデアリマス、實ハ競爭ヲ強フルト云フ譯デアリマセヌ、此所ヲ一ツ能ク御了解ヲ願ヒタイト思ヒマス

○向井委員 次ハ發電水力ニ關スル問題ニ付テ伺ヒタイトデアリマス、水力ヲ利用致シマシテ發電スル所謂水力發電デアリマス、是ハ從來遞信省ト内務省トノ關係ガ複雑ニナツテ居リマシタコ

トハ私共モ存ジテ居ルノデアリマス
ガ、電氣事業調査會ニ於テモ、是等ノ
問題ヲ劃然キマリヲ付ケテ置クコトガ
宜イト云フノデ、水利法トデモ申シマ
スル法律ヲ制定スルコトガ宜カラウト
云フ答申ガ、御廻シニナリマシタ參考
ノ中ニアッタヤウニ思ヒマス、是ハ如何
デゴザイマスカ、ドウ云フ理由デ今回
發電水力ニ關スル法律ヲ御制定ニナラ
ナカッタノデアアルカ

○小泉國務大臣 只今御尋ノ水利ニ關
スル法案モ調査會ト致シマシテハ答申
ガアッタト思ヒマス、出來ルナラ至急是
等モ調査ヲ致シマシテ、本案ト同時ニ
提出致シタイト云フ考ヲ有ッテ居リマ
シタガ、實ハ事務上ヨリ其手續ニ至ラ
ナカッタノデアリマス、只今調査中デ
アリマスカラ、御質問ノ要旨ニ副フヤ
ウナ方法ヲ近イ中ニ決定致シタイト考
ヘマス

ヲ篤ト調査致シマシテ、遞信省モ之ニ許
可ヲ與ヘテ居リマスノデ、必ズ内務省
ノ申達ニ依ッテノミスルノデアリマセ
ス、殊ニ遞信省ト致シマシテハ其水利
ノ關係ヲ篤ト調査致シマシテ許可ヲ致
シテ居ルノデアリマスカラ、語ヲ換ヘテ
申シマスレバ、内務遞信ガ協調ヲ致シ
マシテ相一致シタ意見ニ於テ許可シテ
居ル、斯様ニ致シテ居ルノデアリマス、
御尋ノ法案ノ出來マスル迄ハ從來ノ如
キ手續ニ依ル外致方ナイト考ヘテ居リ
マス

○小泉國務大臣 電氣委員會ノ組織權
限ニ關シマスルコトハ御手許ニ差出シ
テアリマスル臨時電氣事業調査會答申
ト云フモノ、十頁ニアリマス、其答申
ノ精神ニ基キマシテ、大體ニ於テ遞信
省ニ於テハ之ヲ適當ナリト認メマシ
テ、此精神ニ依ッテ委員會ヲ組織スル考
ヲ持ッテ居リマス、而シテ之ヲ本案ノ條
文ニ載セマセヌハ、斯ウ云フ法案ニ
ハ此委員會ノ組織ヲ載セタ法案モアリ
マスルシ、載セズニアル法案モアルヤ
ウデアリマスルガ、遞信省ト致シマシ
テハ、今申上ゲタ通り、此電氣事業調
査會ノ御決議ニナリマシタル其答申ノ
精神ニ基キマシテ、本案ガ通過致シ
マスレバ、直ニ其委員會ヲ組織シテ、而
モ其諮問スル事項ハ、答申案ノ精神ニ
依ッテ之ヲ遵奉シテ行キタイト云フ考
ヲ持ッテ居リマスカラ、委員會トハ少シ
モ意見ヲ異ニシテ居リマセヌ

ソレト尙ホ併セテ伺ッテ置キマスガ、
從來ハ水力ヲ使用スルコト云フコトハ地方
長官ノ權限ニ屬スル、即チ河川法ノ規定
ニ依リマシテ水力ヲ使用スルコト云フコト
ハ、地方長官ノ權限ニ屬シテ居リマシタ
爲ニ、主務大臣トシテハ唯單ニ地方長官
ニ對スル認可ヲ與ヘル、之ヲ許シテ宜イ
カ惡イカト云フ認可ヲ與ヘテ居ッタノデ
アリマスガ、今後モヤハリ此取扱ハ水其
モノヲ使用スル場合ハ地方長官ニ於テ
許可スルコトニ相成ルノデゴザイマス
カ、其點ハ法文ヲ見マシテモ私共ニハ分
リ難イノデアリマス、遞信大臣ガソレヲ
管理スルデアリマスガ、ドウ云フコト
ニナルノデアリマスカ、地方長官ト云
フモノ、權限ヲ全然政府ニ御移シニ
ナッタノデアリマスカ、又水其モノ、使
用ハヤハリ河川法ニ根據ヲ置イテ、地
方長官ニ於テ許可ヲサレルコトニ相成
ルノデアリマスカ、其點ヲ……

○向井委員 サウスルト今ノ御答ニ依
リマス、ヤハリ水ノ使用ニ付テハ從
來通り地方長官ニ於テ許可スルコトニ
ナルノデアリマスカ
○小泉國務大臣 今日迄ト云ウテモ、
地方長官カラ内務大臣ニ申請シ内務大
臣カラ遞信省ニ申達ヲシテ直チニ是ニ
許可ヲ與ヘテ居ルノデアリマセヌ、内
務遞信兩省ガ其水力發電並ニ其他ノ事
ニ付テ關係致シテ居リマスル所ノ事情

○向井委員 唯今ノ御話ハ分リ兼ネマ
スガ、又後ニ能ク御調ベヲ願ヒタイ、
私ノ問ヒマシタ事ニ付テ違フヤウニ思
ヒマスガ、マア宜ウゴザイマス、次ニハ
電氣委員會ノ事ニ付テ御伺ヒ致シタイ
ノデアリマス、是ハヤハリ電氣事業調
査會ニ於テモ非常ニ論議ヲセラレタ問
題デアリマシタガ、電氣委員會ト云フ
モノ、職務權限ノ大綱ハ何等法文ノ上
ニ現ハレテ居ラヌヤウデアリマス、電
氣委員會ト云フモノハ、是ハ非常ニ重
大ナル意味ヲ持タセルガ宜イト云フコ
トガ、電氣事業調査會デノ多クノ人ノ
希望デアッタヤウニ考ヘルノデアリマ
ス、今回ノ法案ヲ見マスルト、唯遞信
大臣ノ諮問機關トシテ電氣委員會ヲ置
ク、其組織權限等ハ命令ニ於テ定メル
ト云フヤウナ風ニナッテ居ルノデアリ

○向井委員 電氣事業委員會ハ今申シ
マスガ、此電氣調査會ニ於キマシテモ、
委員ノ員數ナドニ付テモ何カ希望ガ
アッタヤウニ考ヘテ居ルノデアリマス、
是ハ何等法文ノ上ニ規定ハ無イノデア
リマスガ、是ハドウ云フ譯デ法文ニ御
規定ニナラナカッタカ、此電氣委員會ノ
組織權限ノ大綱ノ如キハ法文ニ規定ス
ベキモノデアアルト思フノデアリマス、
此點ニ付テ御考ヲ伺ヒタイト思フ

マスルヤウニ委員ノ員數及ビ委員ノ選擇ノ方法如何ニ依リマシテ、是ガ畫餅ニ歸スルヤウナ場合ガアルダラウト思フ、此電氣事業委員會ト云フモノハ餘程重大ナル意義ヲ持ッテ居ルモノト私ハ考ヘル、今大臣ノ御答ニ依リマス、是モ電氣事業調查會ノ答申ノ趣旨ニ則ッテアル積リデアルト仰セノヤウデアリマシタ、電氣事業委員會ハ委員ノ數モ關係各廳ノ高等官ガ七人、知識經驗ノアル者八人ト云フヤウナコトガ、答申ニナッテ居リマスガ、此員數ハ此方法ニ依ル積リデアリマスガ、其點ヲ御伺ヒ致シタイ

○小泉國務大臣 大體ニ於テ此委員ノ員數ハ只今御尋ノ通り、此調查會ノ答申ニ基イテ、此程度デ組織ヲ進メタイト斯様ニ考ヘテ居リマス

○向井委員 ソレカラ次ハ電氣事業法ノ第一條デアリマスガ、第一條ノ第三號ノ規定ノ中ニハ——是ハ勿論ノコトデアルト思ヒマスルガ、念ノ爲ニ御尋致シマス、大口動力ノ供給モ此中ニ無論包含サレルノデアリマスガ

○小泉國務大臣 御質問ノ通りデアリマス

○向井委員 次ハ電氣事業法案ノ第八條ノ三項デアリマス、管理正當ノ事由ナクシテ第一項ノ許可ヲ拒ミタルト云フコトガアリマスガ、此正當

ノ事由ト云フコトノ中ニハ、市町村ニ於キマシテ、或ル會社ト報償契約ヲ爲シテ、既ニ其道路ナリ其他ノ營造物ヲ貸シテアル場合、報償契約ガ既ニ存在シテ居ルト云フ理由ヲ以テ之ヲ拒ミマス場合ニハ、正當ノ事由ト御認めニナリマスカ否ヤ、其點ヲ御伺ヒ致シマス

○小泉國務大臣 御答致シマス、報償契約ハ此事由ト認めテ居リマセヌ、報償契約ニ依ッテト云フコトニナリマスト、正當ノ事由トハ認めナイコトニナッテ居リマス

○向井委員 次ハ法案第九條ノ第一項デアリマス、電氣事業者ハ必要アルトキハ現在ノ使用方法ヲ妨ゲザル限度ニ於テ他人ノ地上ノ空間若ハ地中ニ電線路ヲ施設シ、云々ト云フ法文ニナッテ居リマスガ、此「他人」ト云フ言葉ハ國有ノ土地ヤ公共團體ノ所有ノ土地モヤハリ他人ノ土地ト御認めニナルノデアリマスガ

○小泉國務大臣 公共團體モ國家モ之ニ含ンデ居ル積リデアリマス

○向井委員 ソレカラ次ハ法案ノ第二十八條ニ付テ御伺ヒ致シタイ、法案ノ第三條ノ許可ノ全部若ハ一部ヲ取消シ又ハ會社ノ取締役、其ノ他ノ役員ノ改任ヲ命ズルコトヲ得、是ハ非常ニ重大ナル規定デアルト考ヘルノデアリマ

ス、會社ノ取締役ノ改任ヲ命ゼラレルコトガ適當ナルコトデアルヤ否ヤ、斯ウ云フ法文ノ存在ガ適當デアルヤ否ヤト云フコトヲ今審議スルコトハ避ケマスガ、會社ノ取締役ハ全ク株主總會ニ於テ之ヲ選任ヲ致シテ居ルノデアリマス、此株主總會ニ於テ多數ノ要望ヲ擔テ選任ヲ致シテ居ル取締役ニ於テ不都合ノ行爲ガアルト云フ點ヲ以チマシテ、之ニ直チニ改任ノ命令ヲ發セラレルト云フコトハ如何デアラウカト私ハ考ヘルノデアリマス、今日官憲ノ力ヲ以テ民意ニ基ク、即チ多數ノ要望ヲ擔テ株主總會ニ於テ選舉セラレタル重役ノ改任ヲ、官憲ノ權力ヲ以テ行フト云フコトハ是非非常ニ重大デアアル、而モ其三號ニ規定シテアリマスル、電氣事業者ガ公益ヲ害スル所ノ行爲ヲ爲シタルトキ勿論此改任ヲ命ゼラル、場合ハ公益ヲ害スル重大ナル場合デアリマセウ、是ハ單ニ公益ヲ害スルトアリマスケレドモ、實際ノ問題トシテハ非常ニムヅカシイ問題デアラウト考ヘルノデアリマス、是ハ果シテドウ云フ場合ヲ言フノデアルカ、若シ會社ノ重役ガ、改任ヲシナケレバイカヌヤウナ行爲ヲ爲シタ場合ハ、恐ラク他ノ法規ニ依ッテ處分ヲ受ケル場合デアリマセウ、即チ刑事法規ニデモ抵觸スルヤウナ場合ニ非ザレバ此取締役ノ改任ヲ命ズルヤウナ場

合ハ私ハナカラウト思フ、其場合ヲ一茲ニ列舉シテ御答ニナルコトハ御困難デアリマセウガ、此法案ヲ御作成ニナルニ付テハ、色々御研究ニナッタコト思ヒマス、是ハ他ノ法律ニモ斯ウ云フモノガアルヤウデアリマスケレドモ、現在ノ電氣事業法ノ上ニハ斯ウ云フ規定ハナイ、ソレカラ斯ノ如キ重大ナル場合ニ於テモ電氣委員會ニ當然諮問セラレルコトニナッテ居ラナイ、電氣委員會ニ當然諮問ヲセラル、場合ハ即チ電氣ノ流用其他ノ場合デアリマス、其他重要ナル場合トアルガ是其他ドコロデハナイ最モ重大ナル場合デアラカラ、若シ斯ノ如キ命令ガ必要ナリト致シマスレバ、當然此電氣委員會ニ御諮問ニナルベキ筋合ノモノデハナイカト思フノデアリマス、併シ私ハ此命令ノ規定ガ存在スルコトガ、不適當デアルト申スノデアリマセヌ、是非非常ニ重大ナル問題デアルガ故ニ、當然電氣委員會ニ御諮問ニナルベキ筈デアアルガ、之ガナイノハドウ云フ譯デアアルカ、又此命令ヲナサル場合ハドウ云フ場合デアアルカ

○向井委員 ソレカラ三十七條ト二十八條トノ關係ハ如何ニナリマスガ、三十七條ニハ「電氣事業者ハ其ノ代理人、戶主、家族、雇人其ノ他ノ從業者ガ其ノ業務ニ關シ本法若ハ本法ニ基キテ發スル命令又ハ

之ニ基キテ爲ス處分ニ違反シタルトキハ自己ノ指揮ニ出デザルノ故ヲ以テ其處罰ヲ免ルルコトヲ得ズ」ト云フ規定ガアリマスガ、此法文トノ關係ハドウデアルカ、家族ナリ使用人ナリガ、公益ヲ害スル行爲ガアリマシタ場合モ、是ハ即チ重役ガ其責ニ任ジテ、此改任ノ命令ヲ受ケルヤウナ場合ガアルノデアリマス、此三十七條ト二十八條トノ關係ハドウ云フコトニ相成ルノデアリマスカ、此點ガ一寸分リ兼ネマスカラ、之ニ付テ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス ○小泉國務大臣 只今仰セニナッタ二十八條ハ本案ノ中デモ最重要ナ點ニナツテ居リマス、御話ノ如ク會社ノ取締役ト云フ重役ヲ改任スルコトハ最も重大ナコトデアルガ、ドウ云フ場合ニ改任ヲスルカト云フ御尋デアリマシタガ、要スルニ申スマデモナク電氣事業ハ公益事業デアリマシテ、所謂公共的ノ事業デアリマスノデ、公益ニ影響ヲ及ボス場合ヲ擱ンデヤル、之ガ骨子ニナツテ居ルノデ、今具體的ニ是レノデアルト云フコトヲ申述ベル煩ヲ避ケタイト思ヒマス、併ナガラ重役ニ直接ニ改任ヲ命ズルニアラズシテ、其會社ニ命ズルノデアリマスカラ、會社ノ總會ノ決議ニ依ツテ主務大臣ガ改任ヲ命令致シマシテモ、總會ニ於テ改任セズト云フ決議ニナリマスレバ此條項ヲ以テ	直チニ改任ノ實ハ舉ツテ行カヌト思ッテ居リマス、唯會社ニ改任スルコトヲ命ズルト云フ權力ダケヲ持ッテ居ルノデアリマス、隨テ改任命令ノ目的ヲ達スルコトガ出來ナイヤウニナルカモ存ジマセヌ、唯此條文ヲ設ケタノハ、行政命令ト云フ強キ權利ガアリマセヌト、總テノ命令ガ實際ニ行ハレナイト云フヤウナ時ヲ考ヘマシタ結果デアリマシテ、一言ニシテ申セバ、是ハ容易ニ試ミ、又實行スベキ條文デハナイ、所謂傳家ノ寶刀デアツテ、之ヲ拔ク時ハ容易ナラヌ時デアリマス、此條項ヲ適用スルコトハ萬ナイト思ッテ居リマス、萬一公共ニ大影響ヲ及ボスト云フヤウナ場合ノ爲ニ、此條項ヲ設ケタ次第デ、其次ノ重役改任命令ノ場合ニ之ヲ電氣委員會ニ諮問シナイカト云フ御尋デアリマシタガ、是ハ重要ナ問題デアリマスカラ無論電氣委員會ニハ掛ケルノデアリマス ○向井委員 是ハ何レ餘程御研究ニナッタ上ノ事ダト思ヒマス、私共ハ法制ノ觀念ガ薄イノデ分リマセヌガ、會社ニ對シテ或ル特定ノ取締役ヲ改任ヲ御命令ニナリマシテモ、株主總會ニ於テ改任スベカラズト云フ決議ヲスレバ、其命令ノ效果ヲ收メルコトハ出來ナイコトニナツテモ、已ムヲ得ナイト云フ御答ガアリマシタガ、是ハドウ云フ風ニ御研究ニナッタノデアリマスカ、サウ云	フコトニ相成ルト云フコトニ御間違ヒナイノデアリマスカ、ソレカラ改任ヲ命ズル場合ハ、當然電氣委員會ニ附議スルト云フ御話デアリマシタガ、私ガ御尋シタノハ、斯ノ如キ點ハ列舉シテアル中ニ御加ヘニナルノガ當然デアアルヤ否ヤト云フコトデアリマス、流用ノ場合モ無論電氣委員會ニ御諮問ニナルガ當然デアルト思ヒマスガ、唯此流用ニ關スル分ト、其他量要ナル場合ニ於テ云々ト云フコトニナツテ居リマスガ、此場合ハ非常ニ重要ナル問題デアルカラ、必然委員會ニ御諮問ニナルト云フコトニ御規定サレナカッタノハドウ云フ譯デアリマスカ、彼我ノ間ニ區別ナサルノハドウ云フ理由デアアルカト云フ事ヲ伺ツテ置キマス ○小泉國務大臣 只今御答致シマシタ通り、此二十八條ハ公共ノ利益ヲ害スル虞アリト云フヤウナ場合ニ此取締役ヲ改任ヲ命ジマスガ、其會社ノ總會ノ決議デ之ヲ改任シナイト云フ決議ニナリマス、ドウモソレヲ改任ヲスルト云フダケノ特權ハ見當ラナイヤウデアリマス、但シ其會社ガ主務大臣カラ改任ヲ命ゼラレルト云フ時ニハ事頗ル重大ダト思ッテ居リマス、而モ今ノ御話ノ委員會ニ掛ケマシテ委員會ノ諮問ニ依ツテ其諮問ノ答申ガ改任スベカラズト云フコトニナリマスレバ、勿論其諮	問ニ重キヲ置イテ總テノ事ヲ決行シタイト思ッテ居リマスカラ、要スルニ愈々此傳家ノ寶刀ヲ拔イタ時ニ、改任ヲ命ジタ場合ニハ、假令總會ノ決議ガ改任スベカラズト云フヤウナ決議ニナルト致シマシテモ、ソレハナラヌト云フコトハ常識カラ考ヘラレルト思ヒマス、何故カト言ヘバ今申シマシタ通り委員會ニ於テ改任スベシト云フヤウナ答申アリトスレバ、其會社ハ其權威アル委員會ノ答申竝ニ主務大臣ノ命令ヲ肯カナイト云フコトハ常識上アリ得ベカラザルコト、思ッテ居リマス、唯、此法規ノ精神上、總會ノ決議デナケレバ其點ハ如何トモスルコトガ出來ナイ、斯様ニ私ハ解釋致シテ居ルノデアリマス、次ニ是ダケノ、第二十八條ノヤウナ取締役ヲ改任スルト云フヤウナ大キナ問題ヲ委員會ノ條項ノ中ニ入レテ置カヌカト云フヤウナ御質問デアリマシタガ、是ハ今研究中デアリマスガ、ソレヲ入レルコトニハ差支ナイト考ヘテ居リマス ○向井委員 モウ一ツ簡單ナ事務的ノ事デアリマスガ、小賣業者ト卸賣業者トノ間ニ爭ノ生ジマシタ場合ニモ、遞信大臣ハ之ヲ裁定ヲナサル御趣旨デアリマスカ、ドウデアリマスカ一寸伺ッテ置キマス ○小泉國務大臣 其場合ハ殊ニ輕重緩急ガアラウト思ッテ居リマスガ、如何ナ
--	--	--	--

ル場合ニモト云フ譯ニモ參リマスマイ
ト思ッテ居リマス、重大ナル事件ニナ
リマスルナラバ、是ハ總テ委員會ノ蔭
ニ隱レル譯デハアリマセウガ、大體ニ
於テハサウ云フコトハ委員會ノ答申ヲ
得タイト思ッテ居リマスカラ、是モ諮問
ヲスル上ニ於テ鄭重ニ取扱ヒタイト思
ヒマス

○喜多委員

遞信大臣ニ御伺致シマ
ス、現内閣ニ於テハ産業統制ト云フコ
トヲ折ニ付ケテ強調セラレテ居リマス
ルガ、如何ナル内閣ニ於テモ其必要ハ
アリ又之ニ努力致シテ居リマスルガ、
特ニ現内閣ニ於テハ企業統制ト云フコ
トヲ高唱サレ、又努力サレテ居ルヤウ
デアリマス、今遞信大臣ノ電氣事業法
改正法案ニ付テノ御説明中ニモ、企
業統制ノ目的ニ依ッテト云フ御説明ガ
アツタ、私共電氣事業法改正法案ヲ
見テ失望シマシタノハ水力電氣ノ利用
能率ヲ發揮シテ國家經濟ノ爲ニ貢獻ス
ルト云フ意味ニ於キマシテ、寧ロ此法
案ニ現ハレテ居ル以外ノ發電水力ニ付
テノ統制、詰リ我國ノ水力ノ國家資源
ノ能率ヲ十分發揮シテ、之ヲ利用スル
上ニ於テ出來ルダケノ效果ヲ擧ゲシム
ル意味ニ於キマシテハ、寧ロ今日迄ニ
現ハレテ居リマス電氣事業法改正法案
案ニ這入ッテ居ラナイ方面ニ於テ、大ニ
必要デアリ又ソレガ一日モ緩ウスベカ
ラザルモノガアルト私ハ信ジテ居リマ
ス、向井君ノ質問ニ對スル遞信大臣ノ
御答辯ニ依リマス、其必要ハ認メテ
居ルガ、是ハ此際ニ出スコトガ出來ナ
イノデ緩ク考ヘテ見ヨウト云フ御
言葉デアッタヤウニ拜聴致シタノデア
リマスルガ、苟モ遞信省ノ電氣局ニ臨
時電氣事業調査部ヲ設ケ、又臨時電氣
事業ノ調査會ヲ設ケラレテ多クノ審議
ヲ經タル上、斯ノ如キ電氣事業法改正
法案ガ提出サレタ、所ガ私共ノ考ヘ
テ居リマスル水力電氣ニ關シ、我國ノ
水力ヲ出來ルダケ其能率ヲ發揮セシメ
テ、多クノ電力事業ヲ起スト云フ方面
ニ於テ大ナル理由ガソコニ存在シテ居
ル、其モノガ實際ニ於テ解決サレテ居
ラス、此點ヲ私ハ非常ニ遺憾ト思ッテ居
ルノデアリマスルガ、先程ノ遞信大臣
ノ御説明ニ依ッテハ水力法トカ何ト
カ云フコト、シテ考ヘテ居ル、是ハ法
制ノ體系上カラ考ヘテ、或ハ電氣事業
法ノ中ニ這入ラスノガ適當デアルカ
モ知レナイト云フ考ヲ持ッテ居ルノデ
アリマスガ、少クトモ斯ノ如キ大調査
機關ヲ作ラシテ慎重審議サレタ結果、
電氣事業法ヲ御提出ニ相成リマシタ上
カラ見マス、同時ニ此水力ニ關スル
統制、所謂水力法ノ如キモノガ此際ニ
同時ニ御提出ニナルベキモノト私ハ期
待致シテ居ッタ、是ガナイト云フコト

ニ付キマシテハ私ハ非常ニ遺憾ノ意ヲ
表スル次第デアリマスルガ、現在ニ於
キマシテハ是ガ御承知ノ通り地方長官
ガ許可ノ權利ヲ持ッテ居ル譯デアリマ
ス、併シ我國ノ總テノ水力電氣ニ利用
スル上ニ於キマシテハ、一地方ト他ノ
地方ト連繫シテ其事業ヲ計畫スルト云
フコトガ必要デアルト私ハ考ヘル、或
ル地方ニ於キマシテハ雨量ガ非常ニ多
イ、或ル地方ハ少イ、又其時期ニ於キ
マシテモ互ニ異ッテ居ル、裏日本ト表日
本トノ雨量ニ於テモ雨期ガ異ッテ居ル、
斯ウ云フヤウナモノガ統制サレマシ
テ、之ニ結付ケテ始メテ我國ノ水力ヲ
十分電氣ニ利用ガ出來ルト考ヘルノデ
アリマス、此點ガ非常ニ今日ハ不經濟
ニ相成ッテ居ル、詰リ地方長官ノ權利
ヲ持ッテ居ルト云フコトカラ非常ニ不
經濟ニナッテ居ル、是ガ最も根幹ヲ成ス
ト云フ産業統制、企業統制ト云フ上カ
ラ見マシテ、是ハ最も重キヲ成スモノ
ト考ヘマス、其根幹タル重キヲ爲ス所
ノ規定ガ此際出ナイ、單ニ電氣事業法
ノ改正案ガ出サレタト云フコトハ最も
重大ナル意義ノアルモノヲ後廻シニシ
テ、枝葉ニ涉ルモノヲ先ニ御提出ニ相
成ッタコトハ、非常ニ遺憾ヲ表ハシテ
居リマス、先程此點ニ付キマシテハ御
考慮中ト云フ風ニ承ッテ居リマス、果
シテ如何ナル御所見ヲソレニ對シテ御

持チニナッテ居リ、又サウ云フ法案ガ出
ルトスレバ何時頃御提出ニ相成ルカ、
此點ニ就テ御見込ヲ此際承ッテ置キタ
イト思ヒマス

○小泉國務大臣 喜多君ノ御質問ニ御
答致シマス、御尋ノ要旨ハ、此法案以
外ニ統制スル事項ガ澤山アルデハナイ
カ、之ヲ何故出サスカ、斯様ナ御質問
ノ要旨デゴイマシタガ、ソレニ付テ
モ當局ハ非常ニ考慮シテ居リマス、先
刻向井君ノ御質問ニ御答致シマシタ如
ク、目下遞信省ニ於テハ發電水力法ヲ
設ケタイト云フノデ極力研究致シテ居
リマス、何時頃カト云フ御尋ニ對シテ、
成ベク早く調査ヲ進メテ法ヲ設定シタ
イト考ヘテ居ルノデアリマス、其發電
水力法ノ中ニハ只今御質問ガアリマシ
タガ、成ベク各省ヲ統一一致シマシテ、
今日ノ如ク色々複雑セル手續等ハ之ヲ
省略シテ統制スル意思ヲ其中ニ入レ
テ、研究シテ居ル次第デアリマス

○喜多委員 既ニ遞信大臣ハ御氣付ニ
ナッテ、御考慮中ニ拘ラズ、今期議會ニ
此最も重要ナル根幹ヲ爲ス所ノ――産
業合理化ノ意味ニ於テ根幹ヲ爲ス所ノ
重要ナル案ヲ御提出ニナッテ居ラヌ、之
ニ付テハ色々困難ナ事情デモ伏在シ
テ居ルノデアリマセウカ、此水力電氣
ニ付キマシテハ、遞信省ニ於テ一番始
メ率先シテ水力電氣調査局ト云フモノ

ガ出来、全國的ニ調査サレマシタ結果、何デゴザイマスカ承ッテ置キタイト思

今日斯ノ如キ産業ニ利スル大キナ事業
ヒマス

ガ起リマシタノハ、國家ノ爲ニ吾々ハ
慶賀ニ堪ヘナイ、此水力電氣ト云フモ
ノハ無論全國的ニ之ヲ統一シ統制致シ
マシテ、サウシテ我國ノ水力ヲ出来ル
ダケ經濟的ニ之ヲ使ッテ、其力ヲ發揮セ
シムルト云フコトガ必要ト思ヒマスカ
ラ、是ハ無論遞信大臣ニ於テ其許否ノ
權ヲ御持チニナルコトハ當然デアル、
地方長官ガ——河川法ト云フヤウナモ
ノガアリマシテ、是ハ御承知ノ通り明
治二十九年ニ制定致サレマシテ、マダ
斯ウ云フヤウナモノガ起ッテ居ナイ頃
ノ古イ時代ノ規定デアル、ソレヲ楯ニ
取リマシテ、此水力電氣ニ關スル許可
ノ權ヲ地方長官ガ握ッテ居ル、是ハ時代
錯誤デアッテ、斯ウ云フコトヲシテ居
テハ、日本ノ水力ヲ十分ニ有效ニ産業
ニ使フコトハ出来ナイト考ヘル、ソレ
デ今御考慮ニナッテ居ル此發電水力法
ナルモノハ、ドウ云フ風ナコトニ依ッテ
御取扱ヒニナルカ、地方長官カラ取上
ゲテ、之ヲ遞信大臣ニ依ッテ御取扱ヒニ
ナルノカ、内務省、農林省、或ハ文部
省、其他ノ關係ハアリマセウガ、ソレ
ハ協議ニ讓ルコトニシテ、主管大臣タ
ル遞信大臣ガ、此許否ノ權ヲ御持チニ
ナルト云フコトガ必要ダト考ヘルノデ
アリマスカ、其點ニ付テノ御所見ハ如

○小泉國務大臣 御質問ノ要旨ニ悉ク
同感デアリマス、其要旨ニ依リマシテ
一ツ水電法ヲ制定致シタイト考ヘテ居
リマス

○喜多委員 私ハ此電氣事業法改正法
律案ニハ大ナル反對ハナイノデゴザイ
マスガ、先程カラ申シマシタ如ク、最
モ重大ナル根幹ヲ成ス所ノ法規ガ出テ
居ラス、此點ニ於テ非常ニ遺憾ヲ感ジ
テ居ル、遞信大臣ハソレヲ御考慮ニナ
テ居ルノデアリマスカラ、其時期ヲ伺
ハウトシタノデアリマスケレドモ、是
モ御明答ニナラヌノデアリマスガ、併
シ大臣ニ於テ既ニ御心配ニナリ考慮中
デゴザイマスレバ、此質問ハ是デ止メ
マス、ドウカ我國ノ水力ヲ統制致ス上
ニ於テ、是非トモ地方長官カラ斯カル
許否ノ權ヲ奪ヒ上ゲニナッテ、遞信大臣
ガ直接許否ノ權ヲ御持チニナルト云フ
コトハ、此電氣事業ノ上ニ最モ重要ナ
點ト思フノデアリマス、此希望ヲ申述
ベテ是デ打切ラウト考ヘマス

モウ一ツ極ク簡單ニ御伺致シタイト
考ヘルノハ、今度ノ改正案ニ依リマシ
テ、料金ハ認可制度ヲ御採リニナッタ
ノデアリマスガ、是ハ現在定マツテ居ル所
ノ料金其儘ヲ御認可ニ相成ルノデアリ
マセウカ、或ハ遞信省ニ於テ特ニ各會
社ノ狀態ニ基キマシテ、基準料金ト云
フヤウナモノヲ御定メニナッテ、ソレニ
近付イテ行キ、或ハ此基準料金デ認可
スルカ、或ハ直チニ基準料金デ認可ガ
出来ナイトシテモ、基準料金ト云フモ
ノヲ定メラレテ、御認可ニナル御意思
デアリマスガ、ソレカラ又此料金認可
ト云フモノニ付テ——改訂ヲスルコト
ニ付テ、何等危険ハゴザイマセスケレ
ドモ、併シ此第二項ニ依リマシテ、條
項ヲ殘シテアリマス、即チ主務大臣ハ
公益上必要アリト認ムル時ハ電氣事業
者ニ對シテ云々ト云フ規定ガゴザイマ
スルカラ、之ニ依ッテ期限ヲ定メナクテ
モ御發動ニ相成ルト云フノデゴザイマ
セウカ、若シモ此新規定ノ第二項ガ存
在シテ、是ガ適當ニ適用サレルト云フ
コトデアレバ料金認可ノ制度ノ必要ガ
ナイヤウニ私ハ考ヘル、隨時此規定ガ
發動サレルト云フコトデアレバ必ズシ
モ料金認可制度ハ必要ハナイ、其料金
認可制度ノ必要ト云フコトハ、寧ロ民
間ノ者ヨリ會社ニ對シテ料金上爭ガ隨
分今マデアッタノデアリマスガ、是ハ會
社トシテモ非常ニ困ッテ居ルコトデア
リマス、其困ッテ居ルコトハ必ズシモ私
ハ惡イトハ思ハナイ、色々需要者カラ
料金値下ノ運動ヲヤルト云フコトハ結
局會社ヲ刺激シ、鞭撻シマシテ隨テソ
レニ依ッテ改善ガ行ハレルト云フコト

ニ相成ッテ、進歩ノ上ニ於テ必ズシモ惡
イコトデハナイ、サウ云フ刺激ノアル
ト云フコトハ、寧ロ宜シイト私ハ考ヘ
テ居ル、然ルニ之ヲ認可制度ニ致シマ
スルト、其爭ハ會社ニ對スルモノデナ
ク、主務大臣ニ對スルコトニナル、會
社ニ對スル此反對ヲ主務大臣ガ引受ケ
ラレルト云フコトニ、此認可制度ト云
フモノガナルモノト私ハ考ヘルノデア
リマス、此新規定ノ第二項ヲ十分ニ御
適用ニ相成ルト云フコトデアレバ必ズ
シモ認可制度ニスル必要ハナカラウ、
此第二項ガサウ云フ風ニ有效ニ働キ得
ナイ、隨テ認可制度ガ必要ナリトスル
ナラバ、此第二項ト云フモノニサウ重キ
ヲ置クコトハ出来ナイノデアリマスガ
ラ、或ハ此認可料金を付テ、三年或ハ
五年ニ於テ之ガ改訂ヲ命ズル、調査ヲ
シテ同ジ料金デモ宜シイカ、低クシテ
モ宜シイカ、改訂ヲ命ズルト云フヤウ
ナ規定ガ茲ニ必要ガアルノデハナカラ
ウカ、要スルニ第二項ガ十分ナル働キ
ヲ持ッテ居ルモノデアルトスレバ、必ズ
シモ認可制度ガ必要デナイ、サウ云フ
民間ノ苦情ヲ遞信大臣ガ是カラ引受ケ
ル、ソレデ會社ニ對スル刺激ト云フモ
ノガ無クナルト云フヤウナコトモ考慮
サレルノデアリマス、此第二項ガ若シ
モ十分ニ働キ得ナイト云フコトデアレ
バ、例ヘバ料金認可制度ヲ採リマシテ

モ、五年ニ一回調査シテ之ヲ更改スル
ト云フヤウナコトガ必要デハナカラウ
カト考ヘルノデアリマス、是ニ對スル
御所見ヲ伺ヒタイ

○小泉國務大臣 料金認可ノ基準ハド
ウ云フ方法ヲ執ルカト云フコトデア
リマシタガ、其基準ハ幾ツモアルト
思ッテ居リマスガ、要スルニ一番重要
ナ問題デアリマスルカラ、左様ナ事ハ
無論委員會ニ諮問致シマシテ、委員會
ノ諮問ニ基イテ、其基準ノ決定ヲ致シ
タイト考ヘテ居リマス

ソレカラ十七條ニ付テノ御意見デア
リマシタガ、御説ハ一應御尤モニ拜シ
マスルガ、料金ノ認可制度ハ要スルニ
重複ノ供給區域ヲ許サナイノガ此法案
ノ骨子ニナッテ居リマスルノデ、先程申
上ゲマシタ通り、一供給區域ニハ一事
業者、即チ同ジ供給區域ニ澤山ノ複雑
シタル供給ヲ許サヌ、之ヲ致シマスルニ
ハ、何處マデモ料金ヲヤハリ認可制度
ニ致シマシテ、主務大臣ガ其委員會ノ
諮問ニ基キタル料金認可ノ基準ト云フ
モノヲ捉ヘマシテ、サウシテ此料金認
可制度ニ致シテ行クコトハ非常ニ需要
供給ノ上カラ考ヘマシテモ、又萬般ノ
事ニ付キマシテモ最モ是ガ公平適切デ
アル、斯様ニ信ジマシテ、第十七條ヲ
此處ニ提案致シタ次第デアリマス
○喜多委員 遞信大臣ノ御答辯ニ依リ

マスルト、此料金ニ付テハ基準ヲ定メ
其基準ニ付テハ重大事項デアルカラ、
特ニ調查會ノ意見ヲ徴シテ定メルト云
フ御言葉デアッタヤウニ拜聴致シマシ
タ、是ハ基準ヲ定メラレテ、現在ノ料
金ヲ其基準ニ是非近付ケテ行カウト云
フ御意思デアリマスルカ、或ハ現在ノ
狀況ヲ見ナイ基準料金デ認可ヲ與ヘヨ
ウト云フ御意思デアルカ、何レデア
ルカ、其點ヲ更ニ御伺ヒ致シテ置キタイ
ト考ヘルノデアリマス、現在ニ於キマ
シテノ料金ハ各會社ニ依ッテ異ナリマ
スルニ付テ、其會社ノ成績ニ依リマシ
テ大體定マツテ居ルダラウト考ヘル、中
ニハ十分ニ改善ヲ加ヘナイ爲ニ料金ガ
非常ニ高クナッテ居ル、ソコハ隨分區
區ニナッテ居ルカト考ヘマスガ、サウ云
フ料金ノ基準ヲ御定メニナルト云フコ
トハ大體現状カラ見マシテ、各會社ガ
大ナル不便ヲ感ジナイ、サウ云フコト
ガ行ヒ得ルノデアルト御考ヘデア
ルカ、假令基準ヲ定メテモ、現在ノ状態
デハ中々ソレニ近付ケルト云フコト
ハ、遠キ將來デモ、サウ容易ニ行カヌ
ト云フ御見込デアルノカ、是ガ初メヨ
リ此料金認可制度ヲ御執リニナッテ居
ルナラバ、サウ云フ困難ナ事情ハナイ
カモ知レマセヌガ、從來ハ唯屈出主義
ニ依ッテ定ッテ居ル料金デアリマス
カ、各會社デモ色々區々ニナッテ居ル

ト考ヘマスガ、之ヲ統制シテ行ク上ニ
於キマシテ、基準料金デ直チニ認可ヲ
スルト云フノデスカ、出來ルダケ基準
料金ニ近付ケルト云フ御見込デア
ルカ、ソレガ爲ニ近キ將來ニ於テ十分統
制ガ付クト云フ御見込デア
ルカ、此點
ヲ御伺ヒ致シマス

○小泉國務大臣 現在ノ料金ハ一應之
ヲ認可スルコト、致シマセヌト統制モ
付カヌノデアリマスルカラ、此附則ニモ
認メテ置キマシタル通り、現在ノ料金
ハ一應之ヲ認メルコト、致シマス、併
ナガラ餘リ高配當ノモノ若クハ高率料
金ノモノガアリマスルナラバ、漸次是
等ハ料金ノ基準ニ基イテ之ヲ引下ゲテ
行キタイト、斯様ニ考ヘテ居リマス、
料金ノ基準ニモ色々御議論モアラウ
ト思ヒマスルガ、先ヅ原價計算ニ依リ
マシテ、發電費、送電費、配電費、營
業費、ソレカラ公賦課等ノ出費ヲ嚴密
ニ調査ヲ致シマシテ、ソレ等ヲ一ツ基
準ト致シテヤラウト思ッテ居リマス、大
體斯ウ思ッテ居リマスガ、仰セノ如ク現
在ニ於テモ一會社ニ於テ都市並ニ郡村
等ハ餘程料金ガ違ッテ居ルノデアリマ
ス、之ヲ全部統一スルト云フコトハ中
至難ト思ッテ居リマスガ、先ヅ只今申
上ゲマシタルモノヲ基準ト致シマシテ
或ハ甲ト乙トノ區域ニ多少ノ相違ガ
アルコトハ是ハ免レナイト思ヒマスガ、

唯實際ノ相當ノ料金デアルカ否ヤト云
フコトハ一ツ基準ヲ定メテヤッテ行キ
タイト斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマ
ス

○喜多委員 只今ノ御答辯ニ依リマス
ルト、基準料金ヲ定メテモ中々其處ニ
到達スルノハ困難ガアリ、時日ヲ要ス
ルト云フ風ニ承ッタノデアリマスガ、現
在ノ料金ヲ基礎トシテサウシテ認可ヲ
サレル、或ハ基準料金ト云フモノヲ定
メテモ中々色々事情ガ異リマスル
ラ、其基準マデ持ッテ行クト云フコト
ガ大變困難デアルト云フナラバ、寧ロ
サウ云フヤウナ料金ニ對シテ、現在ノ
各會社ノ料金ニ對シテ、遞信大臣ガ責
任ヲ以テ之ヲ認可スルト云フヤウナ、
民間ノ苦情ノ引受ヲ遞信大臣ガ爲サル
ト云フヤウナ遣リ方ヨリハ、寧ロ舊規
定ノ第六條ノ方ガ遞信省ニモ都合ガ好
イ、又民間ニ於キマシテモ此料金値下
運動ナドガ起リマシテ、サウシテ會社
ヲ鞭撻刺戟セシムルト云フ上ニ於テ、
彼等ノ利益ガ期シ得ラレルト云フコト
ニナルノデハナイカ、寧ロ是ハ改善デ
ハナクシテ改惡デアルト云フヤウナ感
ジヲ持ツノデアリマス、此點ノ御所見
ヲ承リタイ

○小泉國務大臣 前段ニモ御答致シマ
シタ通り、本案ノ精神ハ電氣事業ハ獨
占ト云フコトヲ原則ト致シテ居リマス

カラ、獨占ヲ原則ト致シテ居ル以上ハ、社ヲシテ安心セシメテ、サウ云フ所ノ料金ハ認可制度ニスルコトガ極メテ適當ナル、斯様ナ考カラシテ獨占即チ料金認可ト云フコトハ、是ハ不可分ト考ヘマシテ、本案ヲ組立テマシタ次第デアリマス

○喜多委員 只今ノ御説明デマダ満足出來ナイノハ、第六條ガアリマスカラ、必要ナ命令ヲ遞信大臣ハ發スルコトヲ得ルノデアリマス、料金ニ付テモ相當ナ命令ヲ發シ得ラレル、サウ云フ料金ハ認メナイト云フコトハ遞信大臣カラ命令シ得ルコトデアリマスカラ、之ニ依ッテ假令獨占デアッテモサウ云フ暴利ヲ貪ルヤウナ料金ハ宜シクナイ、是ハ命令デ以テ出來得ルコト、考ヘテ居リマス、獨占ニスルカラ認可デナケレバナラナイト云フ必要ハナイ、認可デナクテモ、新規定ニ依リマスル十七條ノ第二項ニ依ッテ相當統制ガ付イテ行クモノト私ハ考ヘル、寧ろ遞信大臣ガ非常ナ苦情引受所ニナッテ隨分御困リニナルコト、考ヘルノト、又會社ハ安心致シマス、是ハ遞信大臣ガ認可シタノデアルト云フヤウナコトニ付テ、料金ニ對シテ非常ナソコニ安心ガ起ッテ改善スベキモノモ改善シナイ、民間カラ料金低下ノウルサイ運動ガアッテ、仕方ナシニ出來ルダケ引下ゲテヤラウト云フ今日ハ現狀デアルノヲ、此處デ會

社ヲシテ安心セシメテ、サウ云フ所ノ刺戟ガ茲ニナクナルト云フコトニナルノデアリマシテ、此電氣事業ノ進歩發達ノ上ニ於キマシテ、寧ろ斯ウ云フ規定ハ私共ハ宜シクナイ、前ノ規定ノ方ガ宜シイ、今遞信大臣ガ御心配ニ相成リマスコトハ第二項、舊規ノ第六條ニ依ッテ其料金ニ付テモ遞信大臣ハ自由ニ命令ナサル權限ヲ御持チニナッテ居ル、料金ニ付テハ命令ガ出來ナイト云フ規定ガアレバ別デスケレドモ、是ハ料金ニ付テモ命令シ得ルコトト私ハ考ヘル

○小泉國務大臣 現在ノ第六條ニ依リマス云フト、主務大臣ガ料金ニ對シテ出動ヲ致シテ、御質問ノヤウナコトガ出來ナイノデアリマセヌガ、諸テ實際ニナリマス、其料金ニ對シマシテ一定ノ基準ガアリマセスト云フト、如何ニモ事ハ複雑ニナリマシテ、唯名バカリデアッテ實ヲ舉ゲルコトガ容易デナイノデアリマス、ソレガ故ニ只今モ申上ゲマシタル通り、將來此電氣事業ヲ統制スルノニハ先以テ電氣事業ハ一ツ獨占ヲ定メタル以上ハ其需要供給其他ノモノヲ調節スル爲ニ料金ヲ認可制度ニシテ參リマススト云フト、双方相俟ッテ非常ニ圓滿ニ宜シク行キハセスカ、料金ヲ認可制度ニスルト、遞信省ガ苦情

ノ引受ケ所ニナルノデアリナイカ、斯様ナ仰セハ御尤モデアリマスガ、是ハ責任上出來得ル限り其料金ト云フモノニ付テハ電氣事業者ノ巨額ナ固定資本ニ對シテ相當ノ利廻ヲ宜クシ、而シテ一般ノ消費者ニ對シテモ極メテ是ガ物價ニ相當スル所ノ料金ト云フコトニ此中心ヲ擱ンデ、サウシテ認可ヲスルト云フコトハ現在ノ制度ヨリモ餘程統制上必要デアルト、斯様ニ信ジテ此案ヲ組立タ次第デアアルノデアリマス

依ッテ假令獨占デアッテモサウ云フ暴利ヲ貪ルヤウナ料金ハ宜シクナイ、是ハ命令デ以テ出來得ルコト、考ヘテ居リマス、獨占ニスルカラ認可デナケレバナラナイト云フ必要ハナイ、認可デナクテモ、新規定ニ依リマスル十七條ノ第二項ニ依ッテ相當統制ガ付イテ行クモノト私ハ考ヘル、寧ろ遞信大臣ガ非常ナ苦情引受所ニナッテ隨分御困リニナルコト、考ヘルノト、又會社ハ安心致シマス、是ハ遞信大臣ガ認可シタノデアルト云フヤウナコトニ付テ、料金ニ對シテ非常ナソコニ安心ガ起ッテ改善スベキモノモ改善シナイ、民間カラ料金低下ノウルサイ運動ガアッテ、仕方ナシニ出來ルダケ引下ゲテヤラウト云フ今日ハ現狀デアルノヲ、此處デ會

○喜多委員 今回定メラレタ此法案ハ臨時調査會、此臨時調査會ヲ御招集ニナリマシタノハ無論學者モ參加サレテ居リマスケレドモ、電氣事業者ガ多ク考ヘマス、其答申ニ基イテ斯ウ云フ認可料金制度ヲ御執リニナッテ、遞信當局トシテハモウ少シ茲ニ御考ヘニナル必要ハナカラウカ、電氣事業者トシテハ基準料金を出來テ、基準料金をデナケレバ認可シナイト云フコトデアアルナラバ宜シウゴザイマスケレドモ、基準料金ハ定メルガ、併シ現在ノ料金ヲヤハリ認可スルヨリ外ハナイ、基準料金を到達スルノハ三年後ニ於テスルノカ、是モ期限ガ附イテ居ラス、基準料金を定メラレタ所デソレハ理想デアッテ、到底現在デハ會社ハサウ云フモノニ從フ譯ニ行カスト云フコトニナリマシテ、現在ノ料金ヲ認可ニナルヤウナ

事實ガ生ズラウト思フ、サウナッテ來ルト會社ノ方デハ現在ノ料金ニ對シテ民衆ハ料金ヲ低下シロト云フヤウナ運動ガ盛ニ起ッテ來ル、私ハ決シテ惡イコトデハナイ、會社ガ出來ルダケ民間ノ聲ニ依ッテ鞭撻ヲ受ケ刺戟ヲ受ケテ、サウシテ是ガ改善ヲ圖ッテ料金ヲ下ゲルト云フヤウナコトハ非常ニ結構デア

ル、然ルニ茲ニ遞信大臣ナル方ガ居ラレテ料金ヲ認可サレルト云フコトニナルト、會社ガ安心シテ刺戟ガ其處ニナクナッテ改善ノ實ヲ舉ゲル上ニ於テ非常ニ私ハ支障ガアルダラウト思フ、只今ノ御答辯ニ依リマス、舊規定第六條ハ事實ニ於テハ力ガ發揮出來ナイ、是ハ私ガ前ニ御質問申上ゲタ、此新規定ノ第十七條ノ第二項、即チ舊規定ノ第六條、是ガ有效ニ働キ得ルナラバ宜イガ、ドウモ有效ニ働キ得ナイ、得ナイトスルナラバ此第十七條ノ認可料金の制度ヲ御執リニナッテモ、是ガ五年或ハ三年ノ後ニ於テハ會社ノ實情ニ應ジテ料金ヲ下ゲル、改訂スルト云フヤウナ、サウ云フ規定ガ必要デハナカラウカト云フコトヲ私ハ初メ御質問申上ゲタ、此第二項ガアルカラ是ガ有力ニ働キ得ルナラバ其必要ハナイケレドモ、今大臣ノ御話ニ依リマス、此舊規定ノ第六條、即チ現規定ノ第十七條ノ第二項ガ有力ニ働キ得ナイノデアアルカラ、此

認可料金制度が必要ト云フコトノ御
答辯ガアル以上ハ、第二項ト云フモノ
ハ餘リ働キ得ナイ、期待出來ナイ、期
待出來ナイナラバ、現在ノ料金ヲ認可
サレル、是ハ三年措イテ後ニハ必ズ改
訂スルト云フヤウナ、茲ニ認可料金ヲ
三年毎或ハ五年毎ニ改訂スルト云フヤ
ウナコトガ當然第二項ノ發動デナク、
サウ云フ規定が必要ナリト私ハ考ヘル
ノデアリマス、是ハ遞信大臣ガ第二項
ノ働ガ十分ニ出來ナイカラ認可料金制
度ヲ執ル必要ガアルト御述ベニナッタ、
然ラバ第二項ガ働カナイナラバ、三年
毎ニ改訂スルト云フヤウナコトガ必要
デハナイカ、サウ云フヤウナ感ヲ持ツ
ノデアリマス、之ニ付テハ如何デゴザ
イマスカ、御考慮ヲ願ヒタイ

○喜多委員

ドウモ遞信大臣ハ私ノ申
上ゲ方ガ惡イ爲カ趣旨ヲ十分御諒解ニ
ナラヌト思フノデアリマスガ、私ハ茲
ニ期限ヲ附ケル必要ハナイカト云フコ
トヲ提議致シタ、詰リ一旦認可スレバ
其料金ハズツ將來マデ行ク、併シ第二
項ガアルノデアアルガ、此第二項ハ餘リ
行ハナイノデアアルト云フ御言葉デア
カラ、三年經テモ五年經テモ今ノ料
金デ會社ハ認可サレタモノデアアルト云
フコトデ進ンデ行カウトスルノハ當然
デアリマスカラ、茲ニ三年ナラ三年ヲ
區切ツテ、一般的ニ料金ヲ調査シテ見
ル、サウシテ改訂スル、其以外ニ尙ホ
特別ナル事情ガアルモノハ第二項ガ働
ケバ宜イ、期限内ト雖モ基準ニ達シテ
居ラヌモノニ對シテハ、オ前ノ方ノ料
金ハ下ゲナケレバナラス、此際基準料
金ニ一定サレルナラバサウ云フ質問ハ
シナイノデアアリマスケレドモ、基準料
金ト云フモノヲ定メルノハソレハ單ニ
理想デアツテ、今後數年間或ハ十數年間
掛ツテ其基準料金ニ達スルト云フヤウ
ナ意味ニ考ヘラレマスルト、現在ノ料
金ガ固定シテシマフ、極端ニ言ヘバ無
期限、將來ズツ今日認可シテ居リマ
ス料金デ押通シテ行カウト云フコトニ
ナル、是ハ第二項ガ餘リサウ度々働ク
ト云フコトガ出來ナイ、若シ第二項ガ

働クナラバ、舊規定第六條デ料金ニ付
テノ命令ヲ發スルコトガ出來ルカラ一
向差支ナイ、私ハ是ハ會社ノ爲ニ遞信
省ガ一寸致サレタヤウナ風ニ見エルノ
デアリマスガ、ドウモ會社ハ刺戟ガナ
クナツテ料金低下ト云フヤウナコトニ
付テ餘リ心配シナイ、隨テ改善ヲ圖ル
コトガナイ、是ハ一般ノ進歩改善ノ上
ニ必要ナルモノデアラウト思フ、ソレ
ヲ茲ニ根絶シテシマツテ、遞信大臣ガ單
ニ俺ガ大キナ判ヲ付イテヤルカラオ前
等ハ安心シテヤレ、サウシテ第二項ハ
餘リ働カナイ、凡ソ三年五年ヲ置イテ
改訂スルカト云フト、ソレモナイ、極
端ニ言ヘバ未來永劫今日ノ料金デ宜シ
イト云フヤウナコトニ相成ルノデア
ツテ、私ハ是ハ不備ダト考ヘテ居リマス、
或ハ三年間五年間置イテ改訂スルト云
フコトヲ茲ニ附加ヘテ置イテ、其上ニ
第二項ガアレバ一番適當ダト考ヘルノ
デアリマスガ、是ハ政府ニ於テモ御贊
成ニナル御筋合ノモノト私ハ考ヘル

○小泉國務大臣

御尤モノコトデアリ
マス、遞信省ト致シマシテモ先ヅ五年
位ノ期限デ御説ノ通りニ實行致シタ
イ、左様ナ考ヘテ持ツテ居リマスカラ、
其期限ダケハ明言シテ置キマス

○喜多委員

ソレデハ修正案ヲ提出致
シマシテ、御同意ニ相成ッタト云フ風
ニ承ツテ差支アリマセスカ

○小泉國務大臣

マダ其處マデハハッ
キリ致シテ居リマセスカラ、其時ニナ
テ又一ツ意見ノ交換ヲ致シマス

○喜多委員

外ニモウ一ツ、電氣委員
會ニ關スル規定ヲ勅令デ御定メニナル
ト云フコトデアリマスガ、勅令案ガ出
來テ居レバ、其案ノ材料ノ御提出ヲ政
府ニ御願ヒラシテ置キタイ、私ノ質問
ハ先ヅ今日ハ是デ打切りマシテ、材料
ヲ頂戴致シマシテ、ソレニ依ツテ疑義
ガ生ジマスレバ、又質問致シタイと思
ヒマス

○小泉國務大臣

只今御尋ノ件ハ、臨
時電氣事業調査會答申ト云フモノ、十
頁ニ大體草案ガアリマスルカラ、ソレ
ヲ御覽下サイマスレバ御諒承ヲ願ヘル
ト思ヒマス

○高見委員

今喜多君ノ御話ノ電氣料
ノ標準問題デスガ、是ガ一番電氣ノ需
用者ノ方面カラ見テ必要ニ感ズル所デ
アリマス、且又一般需用者側ノ大多數
ノ人間ニ問題ガ非常ニ深ク關係シテ居
リマス、ソレト小サイ動力ノ問題デア
リマスルガ、其點ニ付テ二ツ三ツ聽イ
テ見タイト思ヒマス、私等ノ郷里ノ地
方ナドニモ有名ナ電氣爭議ガアリマシ
タ、サウシテ刑事事件ガ起ツテ、漸ク本
年ノ二月、其刑事事件ノ被告人ノ判決
ガ大審院デ下ッタト云フヤウナ有様デ
アリマスルガ、其電氣爭議ニ付テ、電

燈料値下ノ運動ガ盛ニ行ハレテ、サウシテ、色々ノ人ガ仲介ヲシテ其事件ガ中止サレタケレドモ、一般需用者側ハ依然トシテ電燈料ガ非常ニ高イ、斯ウ叫ンデ居ル、殊ニ私ノ郷里ノ、電氣爭議ノ爲ニ被告ニナッタ中心人物ニ對シテ、大審院デ最近其事件ガ判決ガ確定シタ、其人ハ私ト非常ニ懇意ナ友人デアリマサガ、ソレヲ一團ガ曰ク、ドウモ今日ノ電氣料ハ高イカラ、間モナクモウ一應一ツ電氣料値下運動ニ著手スルノデアアル、斯ウ云フヤウナコトヲ盛ニ主張シテ居ルノデアリマサガ、ソレニ關聯シテ、一ツ質問シテ見タイノハ、今日ノ電燈料、電力料ト云フモノニ付テ、是カラ標準モ御定メナリ、且又電氣委員會等ノ權限ノ中ニ料金決定ノ標準ニ關スル事項ト云フコトモアリマサカ、相當ナ御研究モ出來ルデアリマセウガ、大體今日各會社ノ定メテ居ル電燈料ハ、少シク暴利ヲ貪ッテ居ルモノデハナイカ、モウ少シ大體ニ於テ値下ヲスル必要ガアリ、合理的ニ主張サレルモノデナイカ、喧シイ富山縣ノ電氣爭議ト云フモノハ、大變日本國中問題ニサレタ、議論ニナッタノデアリマサガ、彼等ガ主張スル議論ハ、單純ニ、唯暴論暴言暴語ヲ爲スニアラズシテ、非常ニ數理的ノ上ニ出發シテ、非常ナ深イ研究ヲシテ彼等ハ値下ヲ主

張シテ居ル、私等ハ門外漢デアアルカラ、ソレガ果シテ適當カ否カト云フコトハ、チヨット判斷出來ナイノデアリマサガ、遞信省等ニ於キマシテハ、標準ノ値段ヲ御決定ニナルト云フ時ニハ、先ヅ肚ヲ決メテ行カナケレバナラヌ、五箇年ノ間ニハソレノ改訂スルト仰シヤルノデアアルガ、大體ニ於テ今日ノ電燈料、或ハ小サイ動力料ト云フヤウナモノハ——動力料ハ後廻シニ致シマセウ、電燈料ハ大體ニ於テ今日ハ少シク會社側ハ暴利ヲ貪ッテ居ルノデハナイカ、モウ少シ安クシテヤルベキモノデハナイカ、其方針ヲ大體標準トシテ、今後遞信省ハ電氣委員會ヲ招集セラレ、サウシテ其處ニ原案ヲ提出サレル場合ニ於キマシテハ、ソレヲ標準トシテ行カレルモノデハナイカト、斯ウ考ヘマスケレドモ、ソレニ對スル御腹案ガアルカ否ヤト云フコトヲチヨット聽イテ見タイノデアリマサ

○小泉國務大臣 只今高見君ノ御質問ノ通り、最近ノ電氣料金値下ノ問題ニ付キマシテハ、電氣事業者ト需用者トノ間ノ爭ガ頻々ト増加シテ參リマシタヤウデアリマサ、最近ノ統計ニ於キマシテモ、全國デ遞信省ノ調ニ依リマスト五十六件アルカト、記憶シテ居リマサガ、其原因ハ色々アリマセウケレドモ、要スルニ今日ノ深刻ナル不景氣モ其原因ノ一ツデアリマセウ、又電氣事業者ノ利益配當ノ餘リ高率ナル所以ヲ以テ、ソレニ對スル又標準ヲ定メテ此場合ニ低下シヨウト云フコトニ付テ、要求モアルヤウニ考ヘマサ、時ニ依リマスト之ヲ或ル團體ノ爲ニ運動ノ方法ノ材料ト致シテ利用シテ居ッテ、アチコチニ爭議ガ起ッテ居ルト云フコトモ其理由ノ一ツニ相成ッテ居リマサ、之ヲ要シマスルノニ、私ハ全ク素人デアリマスケレドモ、電氣事業ハ巨額ノ資本ヲ固定サセテ居ルノデアリマシテ、他ノ一般ノ商工業者トハ幾分會社ノ生産上ニ於キマシテモ、趣キヲ異ニ致シテ居リマサ、唯物價ノ指數ガ低落シタカラ直チニ此電力料ヲ下ゲナケレバナラヌカト云フニ——數字ニ付キマシテハ私マダ實ハ研究ガ足ラヌノデアリマサ、ソレ等ノ點ニ付キマシテハ政府委員カラ一ツ詳細ニ御説明ヲサセルコトニ御願ヒ致シタイト思ヒマサ

○高見委員 ソレデハ政府委員カラ、私ノ趣意ニ對シテドウ云フ御觀察ヲ持ッテオイデニナルカ、ソレハ政府委員カラデ宜シウゴザイマサ、ソレカラ尙ホチヨット申上ゲテ置キタイノハ、此間ノ本會議ノ大臣ノ御説明及ビ答辯ノ中ニ、倉元要一君カラ質問ヲ致シタ時ニモ、此電氣料値下ニ關シテハ、ドウ云フ當局ハ御考ヲ持ッテ居ルカト云フ御答辯ノ中ノ最後ニ、是等ハ中々簡單明瞭ニハ行キ兼ねル、即チ電氣委員會ニ付議シテ決定スル積リデアアル、ト云フヤウナ御答辯ガアリマシタ、或ハサウ云フモノデアアルカモ知レナイケレドモ、一般需用者側ト云フモノハ電氣料ト云フモノハ、非常ニ高イト云フヤウナ議論ガ非常ニアッテ、或ル方面ノ人ハ寧ろ國務大臣ハ案外ニ、會社側ニ同情ガアリ過ギテ、サウシテ一般民衆ニ對シテ不誠意ナ答辯デアルト云フコトヲ、或ハ遺憾ニ感ジテ居ル者ガアルカモ知レヌト思ヒマサ、ソレ故ニ端のニ紆餘曲折ヲ抜イテ、ドウカ今日ノ電氣料ト云フモノハ、大體ニ於テ高イ、高イニ依ッテ多少ノ値下スベキ傾向ノ上ニ立ッテ居ルモノデアアルカト云フコトニ關スル端のナ御意見ヲ承ッテ見タイ

○小泉國務大臣 大體本會議ニ於キマシテ私ノ倉元君ニ御答致シマシタノハ、只今御質問ノ中ニアリマシタ電氣事業者ニ同情シテ一般民衆ヲ忘レタト云フコトハ、左様ナ事ハ少シモアリマセウ、唯私ノ頭ニ考ヘテ居リマサ一般ノ商工業者ト違ッテ唯物價ノ指數ガ低落シタカラ直チニ値下ゲナケレバナラナイ、ソレノミデハ下ゲルコトハ出來ナイト云フコトヲ申上ゲタ積リデアリマサ、今申シタ中ニモソレデハモット

○小泉國務大臣 只今高見君ノ御質問ノ通り、最近ノ電氣料金値下ノ問題ニ付キマシテハ、電氣事業者ト需用者トノ間ノ爭ガ頻々ト増加シテ參リマシタヤウデアリマサ、最近ノ統計ニ於キマシテモ、全國デ遞信省ノ調ニ依リマスト五十六件アルカト、記憶シテ居リマサガ、其原因ハ色々アリマセウケレドモ、要スルニ今日ノ深刻ナル不景氣モ

○高見委員 ソレデハ政府委員カラ、私ノ趣意ニ對シテドウ云フ御觀察ヲ持ッテオイデニナルカ、ソレハ政府委員カラデ宜シウゴザイマサ、ソレカラ尙ホチヨット申上ゲテ置キタイノハ、此間ノ本會議ノ大臣ノ御説明及ビ答辯ノ中ニ、倉元要一君カラ質問ヲ致シタ時ニモ、此電氣料値下ニ關シテハ、ドウ云フ當局ハ御考ヲ持ッテ居ルカト云フ

○小泉國務大臣 大體本會議ニ於キマシテ私ノ倉元君ニ御答致シマシタノハ、只今御質問ノ中ニアリマシタ電氣事業者ニ同情シテ一般民衆ヲ忘レタト云フコトハ、左様ナ事ハ少シモアリマセウ、唯私ノ頭ニ考ヘテ居リマサ一般ノ商工業者ト違ッテ唯物價ノ指數ガ低落シタカラ直チニ値下ゲナケレバナラナイ、ソレノミデハ下ゲルコトハ出來ナイト云フコトヲ申上ゲタ積リデアリマサ、今申シタ中ニモソレデハモット

下ゲタラ宜イノデハナイカト云フヤウ
ナコトデ爭議ガ起ツテ居ルヤウデアリ
マス唯一番ムヅカシイノハ現在ノ制度
ガ届出制度デ、認可制ニナツテ居ラナ
イノデアリマスカラ、此料金ノヤリ方
ハ極メテ複雑ニナツテ居ルデアリマ
ス、何處デ定メタラ宜イカ、是ハ私ハ
素人デアリマサルシ、又電氣局長モ其
點ハドウカト思ヒマスガ調ベタ所ヲ御
答辯サセルコトニ致シマス

左様ニ考ヘテ居リマスケレドモ、今ノ
點、料金ハヤハリ高イト考ヘテ居ルカト
云フコトニ對シマシテハ、高イト直グ
私共ハ言ヒ得ル程ノ勇氣ハ持ツテ居ラ
ナイノデアリマス、之ヲ外國ナドノ料
金ニ比較致シマスケレバ、例ヘバ「キロ
ワット」時ノ料金ガ外國ハドウデア
リトカ、日本ハドウデアアルトカ云フヤウ
ナ數字ヲ舉ゲルコトナラバ、是ハハッキ
リ文字ノ上ニ現ハレテ來ルデアリマ
スケレドモ、ソレダケノ數字ヲ以チマ
シテ料金ガ高イトカ安イトカ云フ、最
後ノ結論ヲ言ツテシマフノハドウカト
私ハ考ヘテ居リマス、唯御話ノ中ニモ
アリマスケレドモ、只今大臣ノ御言葉
ニモアリマシタヤウニ、ソレヲ端のニ
申上ゲルト云フコトガ、中々私共ノ今
日トシマシテハ、言ヒ切ル勇氣ガナイ
ヤウナ状態ニアルノデアリマス、ト申
シマスノハ、大臣ノ御言葉ニモアリマ
シタヤウニ只今ノ所デハ届出制度ニ
ナツテ居リマシテ、會社會計ノ内部ニマ
デ立入りマシテ、原價ノ計算其他ニ依
テ基礎的ノ公正ナル料金ヲ算定スルダ
ケノ資料ヲ持ツテ居ラナイノデアリマ
ス、今後ハ之ヲ公正ナル料金デアルト
云フコトヲ世間ニ對シテ言ヒ得ルヤウ
ニ業務ノ嚴重ナル監督、検査ヲ行ヒ基
礎的ニ、算出ヲシタモノヲ得タイトハ
思ツテ居リマス、今後ト致シマシテハ、

申上ゲ兼ネル、斯ウ仰シヤルノテスガ、
某地方ト申シテ置キマス、某地方ニ於
テ今日電氣ノ供給區域ヲ獨占サレ、其
處ヘ直グ大キナ會社ガ同ジ區域内ニ電
柱ヲ建テ、サウシテ電氣ヲ賣ル、ソレ
カラ非常ニ安ク賣ル其爲ニ前ノ會社ハ
非常ニ動搖ヲ感ジテ居ルト云フコトガ
現ニ茲ニアリマス、ソレデ只今マデノ
當局ノ御話ガ、同ジ區域ニ電柱ガ何本
モ立ツテ居ル、此複雑ナル状態ハ經濟
上ノ色々ノ點カラ見テモ惡イ話デア
テ、之ヲ統制スル必要ガアルト仰シヤ
ルケレドモ、需用者側カラ申シマシタ
ナラバ、此現在ノ電燈料ガ國民生活ノ
上ニ於テ少シ高イ、高イカラモウ少シ
安クセネバナラス、此頭ガ先ニ動イテ、
ソレカラ複雑ナル競争ヲサセルト云フ
コトハ會社ノ存立ヲ危クスルカラ、會
社モ保護シナクテハナラナイ、此意味
デオアリデアアルナラバ、洵ニ是ハ今回
ノ社會狀態ノ上ニ於テ立派ナ一種ノ社
會政策デアアル、併ナガラ今日ノ電燈料
ガ高イカ安イカ少シモ分ラナイ、而シ
テ二ツノ會社ガ亂立スルト云フコトガ
統制上惡イ事デアルト云フナラバ、ソ
レニ獨占サセレバサセル程會社ノ電燈
料ガ固定シテ寧ロ高クナツテ行クト云
フ所ノ傾向ヲ帶ビルノデアアル、今當局
ニ於カレテ、若シモ電燈料ガ高イカラ
之ニ對シテ十分安クスルヤウナ途ヲ開

クト云フ法律ノ建前デ各會社ガ複雑デ
アルカラ之ヲ統制スルト仰シヤルナラ
バソレハ歡迎シマセウケレドモ、サウ
云フ意味デナクシテ電燈料ハ高イカ安
イカ分ラナイ、動力料モ高イカ安イカ
分ラナイ、現ニ一ツノ場所ニ於テ安ク
賣込デ居ル會社ガアル、需用者側カ
ラ見マシタナラバ、寧ロ當局ノ頭ニ於
テ、今日ノ動力料ナリ電燈料ト云フモ
ノニ對スル所ノ觀念モナク信念モナク
シテ、單ニ獨占ダケノ爲ニ此法律ヲ出
サレタトシマシタナラバ、需用者側ハ
歡迎シマセス、需用者側ハ寧ロ失望シ
マス、需用者側カラ見レバ二本ヤ三本
赤イ電信柱、青イ電信柱ガ立ツテ居ル
ヨリモ、寧ロ競争シテ安イ電力ガ使ハ
レ、安イ動力ガ使ハレルトシタナラバ、
電柱ガ三本デモ四本デモ五本デモ六本
デモ立ッ方ガ今日ノ状態ニ於テ需用者
側ハ寧ロ歡迎スルノダラウト思ヒマ
ス、ソレカラ同ジ動力ニ於キマシテ
モ「キロワット」時五錢ノ所モアレ
バ、十錢ノ所モアレバ、甚シキニ於テ
ハ八十錢九十錢一圓ト云フ風ニ、一ツ
ノ動力小型ノ小サイ動力料ノ如キニ於
テモ、或ル場所ノ如キニ於テハ一ツノ
地方ト五倍十倍十五倍ノ値段ノ相違ガ
アルヤウニ思フノデス、ソレハ何デア
ルカト言ヘバ、區域ヲ獨占サセルト云
フコトニ依ツテ、非常ニ動力料ガ上ル、

○富安政府委員 御答申上ゲマス、日

本ノ電燈電力ノ料金ガ端的ニ見テ高イ

ト思フカ、安イト思フカ、斯ウ云フヤ

ウナコトノ御尋ノ御趣旨ト存ズルノデ

アリマスケレドモ、只今大臣ノ御言葉

ニモアリマシタヤウニ、ソレヲ端のニ

申上ゲルト云フコトガ、中々私共ノ今

日トシマシテハ、言ヒ切ル勇氣ガナイ

ヤウナ状態ニアルノデアリマス、ト申

シマスノハ、大臣ノ御言葉ニモアリマ

シタヤウニ只今ノ所デハ届出制度ニ

ナツテ居リマシテ、會社會計ノ内部ニマ

デ立入りマシテ、原價ノ計算其他ニ依

テ基礎的ノ公正ナル料金ヲ算定スルダ

ケノ資料ヲ持ツテ居ラナイノデアリマ

ス、今後ハ之ヲ公正ナル料金デアルト

云フコトヲ世間ニ對シテ言ヒ得ルヤウ

ニ業務ノ嚴重ナル監督、検査ヲ行ヒ基

礎的ニ、算出ヲシタモノヲ得タイトハ

思ツテ居リマス、今後ト致シマシテハ、

云フ事ニ對シテハ確實ナル意見ヲ茲ニ

○高見委員 只今ノ御答辯デハ益、滿

足出來ナイ、満足出來ナイノミナラズ

非常ニ遺憾ト思フ、ト云フノハ只今ノ

電氣料金ト云フモノハ高イカ安イカト

云フ事ニ對シテハ確實ナル意見ヲ茲ニ

○富安政府委員 御答申上ゲマス、日

本ノ電燈電力ノ料金ガ端的ニ見テ高イ

ト思フカ、安イト思フカ、斯ウ云フヤ

ウナコトノ御尋ノ御趣旨ト存ズルノデ

アリマスケレドモ、只今大臣ノ御言葉

ニモアリマシタヤウニ、ソレヲ端のニ

申上ゲルト云フコトガ、中々私共ノ今

日トシマシテハ、言ヒ切ル勇氣ガナイ

ヤウナ状態ニアルノデアリマス、ト申

シマスノハ、大臣ノ御言葉ニモアリマ

シタヤウニ只今ノ所デハ届出制度ニ

ナツテ居リマシテ、會社會計ノ内部ニマ

デ立入りマシテ、原價ノ計算其他ニ依

テ基礎的ノ公正ナル料金ヲ算定スルダ

ケノ資料ヲ持ツテ居ラナイノデアリマ

ス、今後ハ之ヲ公正ナル料金デアルト

云フコトヲ世間ニ對シテ言ヒ得ルヤウ

ニ業務ノ嚴重ナル監督、検査ヲ行ヒ基

礎的ニ、算出ヲシタモノヲ得タイトハ

思ツテ居リマス、今後ト致シマシテハ、

云フ事ニ對シテハ確實ナル意見ヲ茲ニ

○高見委員 只今ノ御答辯デハ益、滿

足出來ナイ、満足出來ナイノミナラズ

非常ニ遺憾ト思フ、ト云フノハ只今ノ

電氣料金ト云フモノハ高イカ安イカト

云フ事ニ對シテハ確實ナル意見ヲ茲ニ

○富安政府委員 御答申上ゲマス、日

本ノ電燈電力ノ料金ガ端的ニ見テ高イ

ト思フカ、安イト思フカ、斯ウ云フヤ

ウナコトノ御尋ノ御趣旨ト存ズルノデ

アリマスケレドモ、只今大臣ノ御言葉

ニモアリマシタヤウニ、ソレヲ端のニ

申上ゲルト云フコトガ、中々私共ノ今

日トシマシテハ、言ヒ切ル勇氣ガナイ

ヤウナ状態ニアルノデアリマス、ト申

シマスノハ、大臣ノ御言葉ニモアリマ

シタヤウニ只今ノ所デハ届出制度ニ

ナツテ居リマシテ、會社會計ノ内部ニマ

デ立入りマシテ、原價ノ計算其他ニ依

テ基礎的ノ公正ナル料金ヲ算定スルダ

ケノ資料ヲ持ツテ居ラナイノデアリマ

ス、今後ハ之ヲ公正ナル料金デアルト

云フコトヲ世間ニ對シテ言ヒ得ルヤウ

ニ業務ノ嚴重ナル監督、検査ヲ行ヒ基

礎的ニ、算出ヲシタモノヲ得タイトハ

思ツテ居リマス、今後ト致シマシテハ、

云フ事ニ對シテハ確實ナル意見ヲ茲ニ

○高見委員 只今ノ御答辯デハ益、滿

足出來ナイ、満足出來ナイノミナラズ

非常ニ遺憾ト思フ、ト云フノハ只今ノ

電氣料金ト云フモノハ高イカ安イカト

云フ事ニ對シテハ確實ナル意見ヲ茲ニ

○富安政府委員 御答申上ゲマス、日

本ノ電燈電力ノ料金ガ端的ニ見テ高イ

ト思フカ、安イト思フカ、斯ウ云フヤ

ウナコトノ御尋ノ御趣旨ト存ズルノデ

アリマスケレドモ、只今大臣ノ御言葉

ニモアリマシタヤウニ、ソレヲ端のニ

申上ゲルト云フコトガ、中々私共ノ今

日トシマシテハ、言ヒ切ル勇氣ガナイ

ヤウナ状態ニアルノデアリマス、ト申

シマスノハ、大臣ノ御言葉ニモアリマ

シタヤウニ只今ノ所デハ届出制度ニ

ナツテ居リマシテ、會社會計ノ内部ニマ

デ立入りマシテ、原價ノ計算其他ニ依

テ基礎的ノ公正ナル料金ヲ算定スルダ

ケノ資料ヲ持ツテ居ラナイノデアリマ

ス、今後ハ之ヲ公正ナル料金デアルト

云フコトヲ世間ニ對シテ言ヒ得ルヤウ

ニ業務ノ嚴重ナル監督、検査ヲ行ヒ基

礎的ニ、算出ヲシタモノヲ得タイトハ

思ツテ居リマス、今後ト致シマシテハ、

若シモ區域ヲ獨占サセズシテ——此東ナツタカラ、北海道ノ水力ヲ使ッテ九州京ノ府下若クハ神奈川縣ト云フヤウナニ持ッテ行ッテモ、ソナニ動力ノ缺損所ニ於テ區域ノ獨占ヲサセナカッタナガナイト云フヤウナ時代ニナツテ來テ居ル、或ハ地下ヲ掘ッテヤッテモ、地中ノ澤山ノ重要産業ガ停頓スルト云フコトノ上ニ付テハ餘リニ動力料が高イト云フ事ガ、大部分ノ理由ニナツテ居リマス、サウシテ最初ハ非常ニ安クシテ、一年若クハ二年ノ期限ガ來ルト云フト直ニ其動力料ヲ上ゲル、工場ハ移轉サセルコトハ出來ナイ、而シテ獨占ノ區域デアッテ、隨テ動力ヲ他カラ買フコトモ出來ナイト云フコトニ依ッテ泣ク泣ク高イ動力ヲ買ハナケレバナラス、ダカラシテアナタ方ノ腹ニ於テ、若シモ今日ノ動力料ト云フモノハ高イ、電燈料ハモウ少シ値下ヌルト云フコトノ腹ガ出發點デアッタシタナラバ、ソレハ今日ノ統制ノ上ニ於テ電信柱ノ複雑ナノヲ一ツノ會社ニ獨占サセルト云フコトハ實際ドウデセウカ、併ナガラ今日ノ動力料ノ高イ、又非常ニ無鐵砲ナ、專ラナ、專斷極マルヤリ方ニ對シテ國民一般ノ觀念ハ、寧ロ其動力ノ柱ガ五本テモ十本デモ各會社ガ競争スルコトヲ希望シテ居ルノデハナイカ、殊ニ最近電氣送電ノ學理ガ非常ニ進ンデ、十年前トハ殆ド隔世ノ感ガアッテ、三百里デモ五百里デモ千里デモ二千里デモ、有ユル研究ガ届イテ動力ノ磨滅ガ少ク

ナツタカラ、北海道ノ水力ヲ使ッテ九州ニ持ッテ行ッテモ、ソナニ動力ノ缺損ガナイト云フヤウナ時代ニナツテ來テ居ル、或ハ地下ヲ掘ッテヤッテモ、地中ヲ通ッテモ、如何様ニシテモ、衛生上ナリ其他ノ危險防止ノ手段ハ縱橫無盡デアルカラ、寧ロ各會社ノ自由競争ヲ許シテ、モウ少シ安クスルト云フコトニナツテ、始メテ此法律ハ國民全體カラ歡迎サレル、然ルニアナタ方ハ其點ガ一切分ラスト云フコトガ私共ハ了解出來ナイ、モウ少シ肚ヲ割ッタ單刀直入ニ——餘リ或ル者ニアルト云フ觀念ヲ棄テテ、本當ニ國家民人ノ爲ニ今ノ電燈料ハモウ少シ値下スベキ運命ヲ持ッテ居ルト云フコトヲ當局ハ大膽ニ聲明スルコトガ出來ナイノデスカ

○小泉國務大臣 私カラモ政府委員カラモ御答致シマシタヤニ、端的ニ現在ノ料金ガ高イトカ安イトカ云フコトヲ斷定スルコトニ、洵ニ苦ンデ居ルノデアリマス

ト云フノハ申スマデモナク今日マデハ先程御質問ガアリマシタガ、現行法ノ六條ニ依ッテ料金ノ裁定ヲスルコトガ、ヤッテ出來ナイノデハナイカモ分ラヌノデアリマスガ、中々ソレハ至難ナコトデアリマシテ、而モ會社ノ業務ノ内容ニ互ッテ検査ヲスルト云フ立法上ノ權利ガ備ッテ居ラスガ故ニ、自然今日マデハ實際ノ其會社ノ料金ガ安

イカ高イカ、若クハ正鵠ヲ得テ居ルカト云フマデノ、徹底的ノ調査ガ出來得ナイノデアリマス、是ハドウモ事實ニ於テ出來得ナカッタノデアリマス、併シ幸ニシテ本案ガ通過致シマシテ實行ノ曉ニハ、漸次只今ノ御質問ノ趣旨ニ達スルコトガ出來ルト思ッテ居リマス、御質問中ニ御尤モアルト思ヒマスノハ獨占ヲスルト云フト、如何ニモ高イモノデ、現ニ斯ウ云フ所ガアルデハナイカト、某々ト云フコトデ德義上名ヲ御示シ下サラナカッタコトヲ、非常ニ私ハ仕合セト考ヘテ居リマス、確カニサウ云フ所ガアリマセウ、併ナガラ今日マデノ實績ニ徴シマス、競争ハ一時的ノ現象デアリマス、或ハ元ヲ喰ッテモ宜イカラ安クシヨウデハナイカ、場合ニ依レバ只デモ宜イカラト云フ激甚ナル競争ヲシタコトガアルヤウデアリマス、其競争ハ需用者ニ取ッテハ随分低廉ナモノガ買ヒ得ラレルデアリマセウガ、ソレハ一時的ノコトデアリマス、サウ云フコトデ會社ノ基礎ニ動搖ヲ生ズルト云フ場合ニハ、國家經濟ガ非常ニ大損害ヲ來シマスカラ、其複雑致シマシタ現在ノ狀態ヲ何トカ矯正シナケレバナラス、斯様ナ見地カラ此統制ヲ目的トスル骨子ト致シマス料金制度ニ依ッテ、供給區域ハ重複シタル供給ヲ許サズ、獨占ヲ原則トシテ、其獨占モ直

チニ實行スルコトハ弊害ヲ生ズルト云フノデ、特定供給ト云フモノヲ附加ヘマシテ調節シテ、漸次今ノ御質問ノ御趣旨ニ向ッテ進ミタイ、斯様ニ考ヘテ此案ヲ出シマシタガ、現在ノ料金が高イカ安イカト云フヤウナ今ノ御質問ニ對シテハ、政府委員カラ申シマシタ通り、ナンセ會社ノ内情ニ立入ッテ、細カニ検査ヲ致シマス所ノ實ハ權能ガナイデハアリマスマイケレドモ、法律上カラ行キマス只今絕對ニサウ云フ權利ハ今ノ所行ハレテ居ラナイノデアリマス、而モ今日マデハ届出制度ノ料金ニナツテ居リマシテ隨分複雑ニナツテ居リマセウ、或ハ高イ所モアリ適當ナ所モアルデセウ、安イ所ガアルカドウカ分リマセヌガ、安イ所ガアレバ宜シウゴザイマスガ、右様ノ次第デ今ハ電燈料ガ一般的ニ安イカ高イカト云フ斷定ヲ下スト云フコトハ、特別ノ御考慮ヲ以テ御勘辨ヲ願ヒマス

○高見委員 特別ノ考慮ヲ以テ御勘辨致シタイガ、一般ノ國民ハ今ノ御説明ニ依ルト益、何ト言フカ、其案ニ賛成スル爲ニ國民ノ期待カラ見テ、何トナク一層裏切ラレルヤウナ感ジガスル、ナゼカト申シマス只今ノ電氣局長ノ御説明ニ依ルト、又大臣ノ御説明ニモドウモ會社ノ經濟狀態モ中々分ラヌカラ、一寸判斷ガ付カヌ、斯ウ仰シヤル

ケレドモ、色々ノ事情デ個人經營デヤッ
テ居ル事業モアリマスガ、電氣事業ト
云フモノハ一馬力幾ラノ工作費ト云フ
ヤウナモノデ、案外明確ニ分ル、加フ
ルニ支出收入ノコトデモ意外ニ電氣局
邊リデモ——當局ニ於テモ大體ノ達觀
ガ出來テ居ル、然ルニ惟フニ此法律ガ
斯様ニ誤解サレテモ仕方ガナイト云フ
ノハドウカト申シマス、從來ノ既設
會社ハ物價騰貴ノ非常ニ重大ナル時ニ
拵ヘラレタ爲ニ、ドウシテモ電氣料ヲ

御言葉ガ澤山出テ來テ、大體ニ於テ今
ノ料金ヲ認定シ、今ノ會社ノ料金ヲ妥
當視サレ、是以上安イモノガ出テ來タ
時分ニハ既設會社ハ潰レル、ソレ故ニ
競争ヲ抑ヘテ、獨占區域ヲ益、獨占セシ
メ、從來デモヤハリ獨占デアッタ、サウ
シテ一層獨占ノ力ヲ與ヘテ、國民一般
ガ非常ニ高イト主張シテ居ル此電氣料
ヲ保護スル所カラ出發シタモノデア
ル、斯ウ吾々ハ斷定ヲ下シテ宜イノデ

ト云フヤウナ趣旨デ作ッタノデハアリ
マセヌ、何處マデ電氣事業者ト需用者
トノ圓滿ナル調節ヲ保ッテ、餘リ事業者
ニモ暴利ヲ貪ラナイヤウニ、又需用者
ニシテモ、餘リ高イモノヲ使ハズニ、
適當ナルモノヲ使ッテ、サウシテ產業ノ
發達ニ資シタイ、全ク左様ナ趣旨カラ
立案シタノデアリマスカラ、左様御承
知ヲ願ヒマス

ハアナタハドウ御主張ニナッテモ會社
保護ノ一ツノ規定デス、其動力ノ値段
ニ關シテアナタノ肚ガ定マラナケレバ
——成程理窟ハ能ク分ッテ居ル、電氣委
員會ニ標準ノ値段ヲ定メサセル、又今
迄ハ無カッタケレドモ、今後ハ電氣料ニ
關シテハ認可ノ制度ヲ執ルノデアアル、
理窟ハアルケレドモ、此法律ヲ行ヒ、
直ニ電氣委員會ガ組織サレ、組織サレ
ルト同時ニ、若シモサウ云フモノガアッ
テ、標準決定ニ關スル事項ガ天下ニ發
表サレタナラバ、盛ニ電燈爭議ニ關ス
ル意見書ガ山ノ如クニヤッテ來ル、其時
ニ於テ明日カラ此問題ニ關シテ右ニ行
クカ、左ニ行クカ定メナケレバナラス
時ニ、肚ニマダ定メテ居ラス、大局ガ
マダ分ラヌト云フコトデハ——要スル
ニ或ル會社ノ獨占區域ニサレルト云フ
コトハ、徒ラニ獨占ヲ益、獨占ニセシ
ムルノデアッテ、一般ノ國民ハ決シテ喝
采出來ナイモノデアルト云フコトヲ——
吾々ハ意見ノ相違ト仰シヤレバ如何
トモ仕方ガナイケレドモ、今日電氣爭
議ノ成績カラ顧ミテ今日某々會社ノ電
燈料ノ競争ノ狀態ヲ顧ルト、確ニ後デ
電柱ヲ立テ、後カラ來タ所ノ會社ハ——
大小ハ別ニシテ、其會社ハ實際安ク
賣ッテ居リマス、某々地方ニ於キマシテ
ハ最初ハ十錢トカ十二錢デ安ク引受ケ
ル、或ハ六錢五厘、三錢五厘ト云フヤ

會社ハ物價騰貴ノ非常ニ重大ナル時ニ
拵ヘラレタ爲ニ、ドウシテモ電氣料ヲ
高クシナケレバナラス運命ニ居ッタ、然
ルニマダ——是カラ縣營ノ電氣モ出來
レバ、電氣會社ノ設計ニナッテ居ルモ
ノモアル、幾ラデモ出來ル、是等ハ非
常ニ安イ工作費デ出來ル、從來六百圓
デ出來タモノガ、三百圓若クハ二百五
十圓デ出來ルト云フコトニナッテ來タ
カラ、是ハ從來ノ古イモノヲ保護シナ
ケレバナラスト云フ見地カラ來タノデ
ハナイカ、若シモサウデアルトスレバ、
獨占ト云フ意味ハ益、一般ノ需用者ノ
方面カラ執ラレタモノニ非ズシテ、會
社ノ保護ノ上ニ立ッタモノデアアル、斯
ウ云フ斷定ヲ下サレテモ仕方ガナイ、ソ
レデアリマスカラ先程申シタ如ク、ノミ
ナラズ大臣ノ御答辯ノ中ニモ、ソレハ
高イ安イガアルカモ知レナイガ、殆ド
目茶苦茶ニ競争ヲシテ居ル所ガアリマ
スはデハ會社ハ立行カスト云フヤウナ

アルカドウカ一ツ答辯ヲ聽キタイ
○小泉國務大臣 前段ニモ御答致シマ
シタル通り、決シテ是ハ電氣事業者ノ
ミヲ保護スル精神カラ出發シタモノデ
アリマセヌ、ソレニ付テハ度々申上ゲ
ル通り、自給自足ヲシテ圓滿ニ調節ス
ル、ソレヲ致シマスノニハ、現在ノ複
雜致シテ居リマスル電氣事業界ノ有様
デハ中々目的ヲ達シ得ラレナイノデア
リマスカラ、ソコデ初メテ統制ノ必要
ガアル、其統制ヲ致スノニハ、今申上
ゲマシタ通り、此法律ヲ骨子ト致シマ
シテ、此骨子ニ依ッテ統制ヲ致シテ行カ
ウ、統制ノ實ガ舉ッテ行クナラバ、只今
御質問ノヤウニ事業者ト需用者トノ間
ニサウ高クモナク、サウ安クモナク、
ソコニ初メテ適切ノ料金ガ生レテ來ル
ノデアアル、其爲ニ此法案ヲ作ッタノデア
リマシテ、決シテ民衆ヲ惱マシテ、電
氣事業者ノミヲ保護シナケレバナラス

遺憾デアリマスカラ、是以上申シマセ
ヌガ、非常ニ民衆本位ニ出發サレル遞
相ハ、今迄ノ御答辯デハ大變錯誤ニ陷
テ居ラレルヤウニ思フ、少シク御反省
ヲ願ヒタイト云フコトハ、今日デモ電
氣ノ供給區域ハ、獨占ガ大體ノ建前デ
アル、ソレヲ餘リニ高クスルト云フノ
デ、他ノ大キナ會社ガハイツテ來テ、サ
ウシテ電信柱ヲ三本デモ五本デモ立テ
テ、其處ニ電燈モ點ケレバ、安イ動力
モ賣ルト云フノデ、今ノ風潮ハ獨占ガ
崩レテ國民ガ喜ンデ居ルデハナイカ、
然ルニ電力ニ關シテハ定見ガナイ、又
是以上安クスルコトガ良イカ惡イカト
云フコトニ付テモ、今日茲デ明言ガ出
來ナイト仰シヤル、併ナガラ今マデ競
争シテ居ルコトヲ國家ガ寧ろ喝采シテ
居ル、之ヲ一層此法律デ獨占ノニシテ
サウシテ需用者ノ方面ニ對シテハ、目
下研究中デアルトシタナラバ、此法律

ハアナタハドウ御主張ニナッテモ會社
保護ノ一ツノ規定デス、其動力ノ値段
ニ關シテアナタノ肚ガ定マラナケレバ
——成程理窟ハ能ク分ッテ居ル、電氣委
員會ニ標準ノ値段ヲ定メサセル、又今
迄ハ無カッタケレドモ、今後ハ電氣料ニ
關シテハ認可ノ制度ヲ執ルノデアアル、
理窟ハアルケレドモ、此法律ヲ行ヒ、
直ニ電氣委員會ガ組織サレ、組織サレ
ルト同時ニ、若シモサウ云フモノガアッ
テ、標準決定ニ關スル事項ガ天下ニ發
表サレタナラバ、盛ニ電燈爭議ニ關ス
ル意見書ガ山ノ如クニヤッテ來ル、其時
ニ於テ明日カラ此問題ニ關シテ右ニ行
クカ、左ニ行クカ定メナケレバナラス
時ニ、肚ニマダ定メテ居ラス、大局ガ
マダ分ラヌト云フコトデハ——要スル
ニ或ル會社ノ獨占區域ニサレルト云フ
コトハ、徒ラニ獨占ヲ益、獨占ニセシ
ムルノデアッテ、一般ノ國民ハ決シテ喝
采出來ナイモノデアルト云フコトヲ——
吾々ハ意見ノ相違ト仰シヤレバ如何
トモ仕方ガナイケレドモ、今日電氣爭
議ノ成績カラ顧ミテ今日某々會社ノ電
燈料ノ競争ノ狀態ヲ顧ルト、確ニ後デ
電柱ヲ立テ、後カラ來タ所ノ會社ハ——
大小ハ別ニシテ、其會社ハ實際安ク
賣ッテ居リマス、某々地方ニ於キマシテ
ハ最初ハ十錢トカ十二錢デ安ク引受ケ
ル、或ハ六錢五厘、三錢五厘ト云フヤ

ウニ引受ケテ、三年契約ナラ三年間ハソレデヤル、三年ノ期日ガ來レバ、直ニ十五錢ニナリ、十八錢ニナルト云フヤウニ、電力會社ガ高イモノヲ押付ケル、其爲ニ需用家ハ非常ニ苦ンデ居ル工場ハ他ニ移轉スルコトガ出來ナイ、算盤ハ何處ニ困難ガアルカト云フト、要スルニ電氣料デス、デアルカラ、今ノ所デハ、吾々ノ見ル所ニ於テハ、獨占區域ニサレト云フコトソレ自身ガ寧ろ産業ノ發達ヲ阻害スルモノデハナイカ、斯ウ吾々ハ考ヘルノデアリマス、併シハ意見ノ相違ト仰シヤレバ仕方ガナイ

ソコデモウ一ツ承リタイノデアリマスガ今日需用者ノ方面カラ見テ、此複雜ナルモノヲ獨占區域ニサレト云フコトハ、ドウ云フ所ガ需用者ノ方面カラ見テ喜ブベキコトデアルカ、其點ヲ一ツ教ヘテ貰ヒタイ、繰返シテモウ一遍言ヒマス、會社側ノ方面カラ見テ供給區域ヲ獨占スルコト云フコトハ、非常ニ宜イデセウ、殊ニ今日大キナ甲ノ會社ノ重役ハ乙ノ會社ノ株主デアルト云フヤウニ、有無相通ジテ居リマスカラ、若シモ此法律ガ出來マシタナラバ、適當ナル妥協案ヲ自ラ講ジラレテ行キマセウ、ケレドモ會社ハ何ヲ建前ニシテ行クカト云フト愈、獨占區域ニナルノデアアルカラ、甲州ハ誰、薩摩ハ誰ト云

○小泉國務大臣 需用者ノ側カラ申シマスナラバ、今日迄ハ御承知ノ通り認可制度ニセズシテ、料金ハ届出制度デアリマス、其需用者ノ供給區域ノ上ニ唯一ツノ電氣事業者アリト致シマスレバ、其事業者ノ力ニ依ル外ハナイノデアリマス、サウ致シマス、自然ソコニヤハリ高イ料金ヲ定メラレト云フ一ツノ弊害ガアルノデアリマス、之ヲ認可制度ニ致シマスナラバ、建設其他總テノ經費等ヲ計算致シマシテ、是ガ適當デアアルヤ否ヤト云フコトヲ能ク見定メテ許可致シマスナラバ、全ク公正ナル料金ノ認可ガ出來得ルト思ヒマス、ソレカラ電氣事業者ニ付キマシテハ今日マデ、自由競争ヲ許シテ居リマスルト云フト、一時ハ需用者ニ安イモノヲ供給シマセウケレドモ、ソレハ僅カノ間デ、忽ニ値上シナケレバナラヌ即チ二重三重ノ投賣ニナツテシマフノ

デアリマスカラ、二重ノ經費ニ依ル經費ヲ採算致シマスカラ、從ツテ需用者ニ圖ラズモ高イ所ノ料金カ課サナケレバナラヌト云フコトガアリマスノデ、ソレヤ是ヤノ弊害ヲ除クナラバ、電氣事業者ト雖モ、餘リ高イ配當モセズ、サウシテ又損モセズ、全ク適當ナル配當ニシテ順調ニ營業ガ出來テ行ク双方ニ全ク有利ナコト、思フテ居リマス

○高見委員 成程電氣事業ノ料金ノ認可制度ト云フモノ、法律ハ、ソレハ需用者ニ於テモ、只今マデ御話ノアッタコトヲ抜キマシテ考ヘタナラバ多少效能ガアルカモ知リマセヌガ、此區域ノ獨占ガ一番問題ニナツテ居ルデセウ、區域ノ獨占ガ只今ノヤウナ料金制度ナリ、動力ノ値段ニ關スル政府當局ノ御意見ガ其程度ノモノデアレバ、高イトモ安イトモ分ラス、五年位掛ツテ研究シナケレバ分ラヌト云フ程度ノモノデアリマスナラバ、此獨占區域ト云フモノガ需用者ニドレダケ利益ガアリマセウカ、寧ろ獨占區域ノ爲ニ各會社ハ或ハ合同スルト仰シヤルケレドモ、サウデハナクシテ獨占區域ガ從來破レタ爲ニ、會社ガ困ツタノデアツテ、需用者ガ喜ンダノデアアル、獨占區域ガ明確ニナレバ合同方法或ハ御互ガ妥協握手ノ方法モアル、サウシテ其獨占區域ニ依テ何處ヘ責任ガ轉嫁シテ行クカト言ヘ

バ、皆需用者ニ與ヘラル、ト云フコトニナル、需用者ハ獨占區域ノ下ニ於テ如何ニ努力シテモ四苦八苦デス、ソレガ獨占區域ガ破レテ競争サセルヤウニナツタカラ需用者ハ非常ニ喜ンダノデアアル、デスカラ單ニ料金ノ認可制度ダケノ講釋デ吾々ハ満足出來ナイ、根本ガソレヲ安クシナケレバナラヌト云フ考デアレバ認可制度モ宜シイシ、ソレカラ又會社ヲ可愛ガツテヤツテ此複雜ナル電信柱ヲ獨占區域ニスルト云フコトガ皆徹底スルトモ其根本ガ不確定デアツテ單ニ電氣ノ獨占區域ト云フモノヲ認メラル、ト云フコトハ今獨占區域ガ破レタ爲ニ需用者ガ喜ンデ居ルヲ今度逆ニ封建的ノ復古的ノ法律ヲ設ケラレテ、何處ニ需用者ガソレニ感謝スルノデスカ

○富安政府委員 御答ヲ申上ゲマス、決シテ議論メイタコトヲ申上ゲル積リハナイノデアリマスカラ、多少サウ云フ風ニ聞エマシタナラバドウゾ惡カラズ御許ヲ願ヒマス、御意見ハ成程需用者ノ今日叫ンデ居ルヤウナ聲ヲ如實ニ代表シテ御出デニナル御言葉ダトハ確ニ承知致スノデアリマス、併ナガラ其需用者ノ考ヘテ居リマスコト、即チ競争ガ許サレト云フト料金ガ安クナル、料金ガ安クナツタノハ競争ガ許サレタ爲デアルト云フコトヲ需用者ガ直

バ、皆需用者ニ與ヘラル、ト云フコトニナル、需用者ハ獨占區域ノ下ニ於テ如何ニ努力シテモ四苦八苦デス、ソレガ獨占區域ガ破レテ競争サセルヤウニナツタカラ需用者ハ非常ニ喜ンダノデアアル、デスカラ單ニ料金ノ認可制度ダケノ講釋デ吾々ハ満足出來ナイ、根本ガソレヲ安クシナケレバナラヌト云フ考デアレバ認可制度モ宜シイシ、ソレカラ又會社ヲ可愛ガツテヤツテ此複雜ナル電信柱ヲ獨占區域ニスルト云フコトガ皆徹底スルトモ其根本ガ不確定デアツテ單ニ電氣ノ獨占區域ト云フモノヲ認メラル、ト云フコトハ今獨占區域ガ破レタ爲ニ需用者ガ喜ンデ居ルヲ今度逆ニ封建的ノ復古的ノ法律ヲ設ケラレテ、何處ニ需用者ガソレニ感謝スルノデスカ

○富安政府委員 御答ヲ申上ゲマス、決シテ議論メイタコトヲ申上ゲル積リハナイノデアリマスカラ、多少サウ云フ風ニ聞エマシタナラバドウゾ惡カラズ御許ヲ願ヒマス、御意見ハ成程需用者ノ今日叫ンデ居ルヤウナ聲ヲ如實ニ代表シテ御出デニナル御言葉ダトハ確ニ承知致スノデアリマス、併ナガラ其需用者ノ考ヘテ居リマスコト、即チ競争ガ許サレト云フト料金ガ安クナル、料金ガ安クナツタノハ競争ガ許サレタ爲デアルト云フコトヲ需用者ガ直

グニ考ヘルノデアリマスガ、ソレガ根本ノ私共ハ正シイ理解デアルカナイカト云フコトニ疑ヲ持ツテ居ルノデアリマス、競争ヲ許シマスト當然設備ガ二重ニナリ、資本ガ重複シテ投資サレルト云フコトニナルノデアリマシテ、サウ云フコトガ不經濟デアリ、不利益ナコトデアルカラコソ、電氣事業ノ如キモノハ自然の獨占事業ト云フコトガ直チニ許スベカラザルコト、キマツテ居ル、自然的獨占事業デアルト云フコトハ競争ヲスレバ、結局損ニナルコトナノデ、競争ガ本質のニ許サレヌモノデアルト云フコトヲ意味シテ居ルモノダト私共ハ考ヘテ居ルノデアリマス、競争シマシタ結果、成程其地方ノ需用者又其時ノ需用者ハ一時安イ料金ヲ享受スルコトガ出來ルカモ知レマセヌ、併ナガラ競争ノ赴ク所ハ必ズ不當ナ競争ニマデ勢ガ及ブト云フコトハ事實爭ヘナイコトデアリマシテ、其結果ガドウナルカト申シマス、無理ナ値段段デ需用者ニ供給スルノデアリマスカラ、一方ノ方デ安ク賣タモノヲ價フ爲ニ、他ノ地方ニ於テ高ク賣ルトカ、又或ル時代ノモノニ少シ安クシタ爲ニ、其次ノ時代ノモノカラ高ク取ツテ補ヒヲ付ケルト云フヤウナコトヲシナケレバ、會社ノ經營ガ辻褄ガ合ハヌコトニナルノハ當然ト思フノデアリマス、其地方

地方ノ者ガ極ク狭イ立場、若クハ自分達ノ事バカリヲ考ヘルナラバ、競争ニ於テ利益ヲ得タト考ヘ得ルト思ヒマシ、併シ其結果ト云フモノハ必ズ他ノ時、他ノ所ニ及ンデ來ルト云フコトハ、事實ニ徴シマシテモ理窟カラ申シマシテモ爭ヘナイコト、思フノデアリマシ、其爲ニ競争ト云フモノハ害アツテ益ナキコトデ、私共ハ獨占スベキモノダト云フ原則ヲ立テタノデアリマス、然ラバ獨占トスレバ高クナルバカリデ獨占ノ利益ニ甘ンジテ、少シモ安クスルコトハナイデヤナイカト仰シヤイマスケレドモ、ソレヲ安クスル手段ト云フモノハ競争ト云フ手段ニ依ルベキデナクシテ、他ノ監督ノ方法ヲ以テ其弊害ヲ十分防イデ行カナケレバナラヌト考ヘルノデアリマス、料金ヲ認可制度ニスルト云フコトハ、安イ料金ヲ定メルコトデモナケレバ、高イ料金ヲ定メルコトデモナイ、公正ノ料金需用者ノ方面カラモ、供給者ノ方面カラモ正シイト考ヘラレル料金、料金ヲ公正ニスル爲ニ認可制ヲ取ル、尙ホ會社ノ業務殊ニ「サービス」ノ事ニ付キマシテモ、嚴重ナル監督ヲ勵行スルコトニ依リマシテ、需用家即チ御客様ニ對シテ本當ニ所謂奉仕ト申シマスルカ、十分ナル「サービス」ヲ提供スルニ遺憾ナイヤウニ監督ヲスル、斯ウ云フ方法ニ依リマ

シテ需用者ノ利益ヲ圖ツテ行クベキモノデアル、斯ク如ク致シマシテ電氣事業其モノガ圓滿ニ發達シテ參ルト云フコトハ、需用者ノ利益トノミ考ヘルベキデハアリマセヌ、需用者ノ利益、ソレガ直チニ事業家ノ利益トナツテ現ハレナケレバナラヌ、監督ノ力ニ依リマシテ設備ガ合理化サレテ利益ガ舉タモノヲ、若シ監督ガ行届カヌデ自分ノ懷ニシマヒ込ンデ參ルト云フコトニナレバ、正ニ事業家ノミニ利益ガ行クノデアリマスケレドモ、ソレヲ適當ナル監督ニ依リマシテ行キマスカラ直チニ御客様ニ對シテ、還元セシムルト云フ理窟カラ、平素ノ監督ガ行届イテ居リマスレバ、事業ノ繁榮ガ恐ラク事業家ノ利益トナリ、需用家ノ利益トナル斯様ナモノハ決シテ別々ノモノデナイト思フノデアリマス、ソレモ業態ノ變遷ニ依ルノデアリマスカラ、只今ノ所デハ獨占ガ原則デアリマス、原則ト致シマシテハ獨占デナケレバナラヌ、サウ云フコトヲ方針ト考ヘ、又ソレガ御言葉ニアリマシタヤウニ、決シテ需用者ノ爲ニ益ニナラスト云フコトハ考ヘテ居リマセヌ

○高見委員 ドウモ今ノ所デハ説明ニ私満足出來ナイ、今日ノ澤山ノ産業デ供給區域獨占ト云フヤウナ産業ハ比較的少イノデアリマス、國有ニナツテ居ル電話トカ電信ト云フモノハ別ニシテ、苟クモ供給區域ヲ獨占スルト云フヤウナ權利ヲ持ツテ居ルモノハ非常ニ産業ノ中デモ少イヤウニ思ヒマス、而シテ電氣ガ根本カラ獨占的性質ノモノデアルト云フコトノ根據ハ只今ノ御説明ニ依ツテハ何ダカ分ラナクナル、ソレハナゼカト言ヘバ、寧ロ其獨占ノ根據ハ、電氣ニ關スル所ノ知識ハ急激ナル最近ノ發達デアツテ、以前ハ人ガ皆諒解シナカッタカラ一種ノ保護的ノ爲ニ出來タノガ一ツ、殊ニ水力デナイ火力ノ電氣ガ最初發達シタ時ニ配電ノ關係上區域ヲ獨占サセルト云フコトハ電氣事業者ヲ保護シ助長サセルト云フコトノ方面カラシテ起ツタモノデアラウト思フ、モウ一ツ又送電ト云フコトニ關スル「ロス」ガ非常ニ多イカラ、發電所カラ二百哩若クハ三百哩モ離レタ所カラ送電スルト云フコトハ非常ニ困難ナル、ソレ故ニ自然一地方ノ電氣ヲ助長的ニ獨占サセル、斯ウ云フ事情ガアツツレデ獨占サセタモノダラウト思フ、然ルニ今日ハ時代ガ變ツテ電氣ト云フモノ、需用ニ關シテハ有ユル家庭ノ料理マデニ電氣ガ用ヒラレル、電氣ト云フモノガ非常ニ國民ニ分ツテ來ル、モウ一ツハ送電ニ關スル所ノ技術ヲ知識ト研究ガ非常ニ整ツテ來テサウシテ三百哩若クハ五百哩ノ先ハ電氣ヲ送ッ

テモ縦横無盡ニ電氣が供給サレテ來タ、サウシテ送電ニ依ル損害ガ少クナツテ來タ、此二ツノ條件ガ重テ來、且ツ加フルニ必ズシモ送電スルニ空中ヲ通サナケレバナラヌト云フコトニハ限ラナイデ、方法ニ依ッテハ地面ノ下カラデモ送電ガ出來ルト云フ今日ノ時代ニナツテ來タカラ、之ヲ助長シ、保護スルト云フヨリモ、是ハ寧ロ端的ニ一ツノ

據ナクシテ獨占時代ノ過去リツ、アルモノヲ元ヘ戻スト云フ獨占ノ法律ヲ施行セラレハ是レ即チ特別ナル營業者ヲ保護スルト云フコトノ基礎ニナラヌカト考ヘルノデアリマスガ、局長ハドウ御考ニナリマスカ、電氣事業ハ供給區域ノ獨占ガ本來ノ性質デアルト言ハレル意味ガ非常ニ不徹底デアルト思フ

○富安政府委員 御答ヲ申上ゲマス、御言葉ヲ承リマス、不幸ニシテ私ハ

今日ノ總テノ産業ニ電氣ノ關係セザル所更ニナシ、皆ドノ産業ニモ電氣ト云フモノハ關係シテ居ル、ソレ程ニ電氣ハ一般的デアアル、ソコガ即チ或ル意味ニ於テ國有論ノ主張サレテ居ル所ダガ一般的ニ最モ大切ナ、最モ今日ノ産業ノ上カラ見テモ何カラ見テモ根幹トナルベキモノハ電氣デアアル、サウシテ其電氣ハ何處カラデモ引張ッテ來ルコトガ出來ル、九州カラ北海道ニヤツテモ大ナル損失ガナイト云フ今日デハ、寧ロ電氣供給區域ノ獨占ノ時代ハ過去ッテ——供給スル者モ需用家モ電氣ニ對スル必要ト知識ト觀念ガ非常ニ發達シテ居ル今日デハ、寧ロ獨占時代ハ過去ッテ自由競争ニ付スルベキ時代デハナイカ、電力供給區域ノ獨占論ノ局長ノ根據ハ如何ニモ私ハ薄弱ノヤウニ思ハレル、ソレ程電氣供給區域獨占ノ時代ハ過去ッタモノナルニ拘ラズ、重要ナル根

全クアナタト違ッタヤウナコトヲ考ヘテ居リマス、ソレヲ結論ニナルノデアリマス、御意見ハ電氣事業ノ如キモノハ今日益、自由競争ニ付サルベキ理由ガ強クコソナレ、少シモ獨占ニスル理由ハナイノダト云フコトデゴザイマスガ私共ノ考ト致シマシテハ全ク逆ニ、昔電氣ノ十分普及シナカッタ當時ニ於テコソ自由競争ヲ許スベキ餘地モアリ、又許スノガ當然デモアッタノデアリマスケレドモ、電氣ノ普及ニ伴ヒマシテ、先ヅ一般ノ電燈ハ獨占デナケレバナラヌト云フコトニナリ、次ニハ小口ノ動力ハ獨占デナケレバナラナイコトニナリ、更ニ大口ノモノデモ或ル程度獨占デナケレバナラヌモノデアアル、サウシテ最後ハ絕對獨占ニ向ッテ進マナケレバナラナイモノデアアル、今日デハ其絕對獨占ノ一ツ手前ノ程度ヲ事業ノ進歩

ガ歩イテ居ルノダ、私共ハ斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、一ツノ地域ニ於キマシテ自由ニ競争ヲ許シマス結果ハ、ドウ云フコトニナリマスカト云フト、成程送電ノ技術ガ非常ニ進歩ヲ致シテ遠隔ノ地方ニマデ送レルト云フコトモ事實デアリマセウ、併ナガラ斯様ナ技術上ノ進歩ノ趨ク所ニ委セマシテ自由ニ非常ニ高イ金ヲ掛ケマシテ、大キナ送電線路ヲ引張リ廻シマス結果ドウナルカト云フト、結局ハ斯クシテ起リマシタ電氣事業ト云フモノハ最後マデ共存共榮デ行キ得ベキ性質ノモノデアリノデアリマス、ソレハ莫大ナ資本ヲ固定サセテ行クコトヲ要素トスル電氣事業本來ノ性質カラ、競争シマシタ結果ハドウナルカト云フト、勢ヒノ趨キマス所、御互ニ血ミドロノ競争ニ至リマシテ、最後ハ我國ノ電氣事業ガ弱肉強食ト云フコトニナリ、協定ヲシテシマフトカ、合併シテシマフトカ云フトニナルノハ當然デアリ、又事實其通りデアアルノデアリマス、サウ云フコトニ結果ハナルト吾々ハ思ッテ居ルノデアリマス、其結果ニ至ルマデノ間ニ於テ競争ノ爲ニ御互ニ費シマス犠牲ト云フモノハ誰ガ之ヲ負擔シマスカ、結局殘ッタモノガ全部之ヲ負擔シナケレバナラナイノデアリマシテ、若シ其負擔ト云フモノヲシナイデ濟ンダナラバ

ソレダケ國家トシテハ資本ガ儲ッタノデアリマス、競争ノ爲ニ費サレタ資本ト云フモノハ結局國ノ經濟上ノ損失デアルト私共ハ言ヘルト思フノデアリマス、左様ナ結果ニナルコトガ分ッテ居ルノデアリマスカラ、ソレガ即チ先程獨占ノ事業デアアルコトガ必要デアルト私ガ申上ゲマシタ所以ナノデアリマス、此意味カラ致シマシテ電氣事業ノ如キモノハ獨占デナケレバナラナイト私共ハ確信シテ居ル次第デアリマス、尙ホ區域ヲ獨占セシメテ居ルト云フヤウナモノハ全ク他ノ事業ハナイカモ知レマセヌガ、併シソレハ電氣事業ト同ジモノハ外ニナイト云フノデアリマシテ、獨占ノ性質ヲ持ッテ居ル事業ハ電氣事業ノミデハナイノデアリマス、設備ニ多額ノ金ヲ固定セシメナケレバナラナイヤウナ事業ハ、皆其程度ノ差コソアレ、同ジヤウナ性質ヲ持ッテ居ルノデ、結局獨占サルベキモノダト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、ソコニ至リマスト多少御考ト私共ノ考ヘテ居リマス所ト違フコトニナルノデアリマスケレドモ、ドウゾ惡シカラズ……

○清瀬委員 色々御尋シタイコトガアリマススケレドモ、今ノ問題ニ關聯シテ一寸御尋致シテ置キマスガ、先程來承ッテ居リマス、遞信大臣ノ御話ト電氣局長ノ御話トニ喰違ヒガアル、善シ惡

シハ別ト致シテ今ノ電氣局長ノ御説明
ノヤウデアルト、ドウシテモ供給區域
ノ獨占ト云フコトヲ明確ニシテ置カナ
ケレバナラヌコトニナル、所ガ遞信大
臣ノ先刻ノ御説明ニ依ルト云フト原則
トシテハ供給區域ノ獨占主義ヲ原則ト
スル併ナガラ時ニ依ッテ競争サセテ行
カナケレバナラヌ場合モアルカラシ
テ、隨テ供給區域ノ獨占ト云フコトヲ
明カニシテ置クコトハ出來ナイ、都合
ガ惡イカラ明カニシナイノデアアル、斯
ウ云フヤウナ御話デアッタと思フ、電氣
局長ノ話ノ善シ惡シハ別トシテ、只今
御話ノヤウナ主義デ行クナラバ、只今
御話ノヤウナ主義ヲ貫徹シヨウトスル
ナラバドウシテモ供給區域ノ獨占ト云
フコトヲ明確ニ致シテ置カナケレバ、
私ハ辻褄ガ合ハスト思フ、大臣ノ御話
ト少シ、違フノデアリマス、今ノ御話
ノヤウデアアルナラバ、供給區域ノ獨占
ト云フコトヲ明確ニシテ置ク必要ガア
ルコトヲ御認ナリマセヌカ、ドウカ、
關聯シテ居リマスカラ是ダケドウカ御
答辯ヲ願ヒマス

上ゲマシタノハ、獨占ガ最後ノ性質ノ
事業デアルト云フコトヲ申シタノデア
リマシテ、今日ハ一ツ手前ノ所ニアル
ノデアリマス、最後ニ至ル一ツ手前ニ
アルノデアリマシテ、言ヒ換ヘレバ獨
占ヲ原則トスルガ、之ニ對シマシテハ、
日本ノ今日ノ電氣狀態ト致シマシテ
ハ、絶對的ノ獨占ハ實情ニ適シナイ之
ニ對シマシテ區域ノ重複ト云フ例外ヲ
認メルコトハ今日ハ最早必要デナイト
考ヘマス、私共ハ區域ト云フコトヲ以
テ、需給調節ヲ圓滿ニ圖ルト云フコト
ガ必要デアアル、丁度其場合ニ今ハ該當
シテ居ルノデアアル、斯様ナ場合ヲ申上
ゲテ居ルノデアリマス、大臣ノ御趣旨
モヤハリ左様デアッタカト私ハ理解シ
テ居ルノデアリマス

○清瀨委員 大臣ノ考モ同様デアリマ
スカ、私ガ先カラ御伺シテ居タノニ、
大臣ノ答辯ハ少シ違フト思フノデアリ
マスガ、大臣ノ御意見ヲ伺ヒマス

○小泉國務大臣 私ガ御答致シマシタ
ノモ、今電氣局長カラ御答致シマシタ
ノモ少シモ違ッテ居リマセヌ

○清瀨委員 其點ハ後ノ場合ニ伺フコ
トニ致シマス

○高見委員 最終ノ獨占トシテ、全國
ノ電氣ヲ全部獨占的ニスルト云フコト
ノ議論ニ對シテハ、ソレハ非常ニ面白
イ議論デアッテ、其議論ノ是非ハ別トシ
テ、非常ニ吾々トシテハ、考慮ヲスベ
キ議論デアルト思ヒマス、ケレドモ今
獨占ニスルト云フソレ自身ガ階梯デア
ルト云フコトニ至ッテハ、其御議論ハ滑
稽デアリマス、而シテ同時ニ又現實ヲ
離レタ一ツノ將棋ヲ差スヤウナ御議論
ハ拔キニシテ、一方ニ於テ現ニ需用者
ガアルデハアリマセヌカ、需用者ト供
給者ノ關係ガアッテ吾々ハ議論ヲシテ
居ルノデアリマス、其需用者ノ關係カ
ラ見レバ今日ノ獨占的ノ方法ハドウナ
ルカト云フノガ吾々ノ質問デアリマ
ス、ソレカラ又大臣ノ言ハレル所ノ最
終ノ獨占ガ、最終ノ理想デアルト仰シ
ヤイマスケレドモ、同時ニ私ハ電氣ガ
出來テ獨占サセタト云フコトノ初マリ
ハ、助長的ニ出發シタモノデアアル、是
ハ一ツノ動カスベカラザル事實デアリ
マセウ、其間ニ於ケル紆餘曲折ノ徑路
ハ必シモアナタノ言ハレル如ク、一目
宛進ンデ行カネバソレガ理想ニ到達シ
タモノト云フコトガ出來スト云フヤウ
ナ、アナタノ理窟通りノ議論ニハ行カ
スト思フ、ソレハ何トナレバ現實ニ於
テ需要ト供給ト云フ關係ヲ忘レテハイ
ケマセヌ、意見ニ色々相違ガアリマス
カラ、議論ハ拔キニシテ端のニ聞キタ
イト思フノデアリマスガ、需用者ノ方
面カラシテ今日電燈料ガ高イカ安イカ
分ラスト仰シヤルカラサウ云フ議論ガ

出ル、今ハ電燈料ガ高イカラ、ソレヲ
安クスルヤウニ、使用スル動力ガ高イ
カラモット安クスルト云フ建前ナラバ、
私ノ議論ハナクナルノデアリマス、ソ
レガ分ラスト仰シヤルカラ私ハ質問ス
ルノデアリマスガ、分ラストナラバ今日
ノ供給獨占ト云フコトヲ熱烈ニ御考ニ
ナルコトガ、今日ノ需用者ニドウ云フ
建前ニ於テ、ドレダケノ利益ガアリマ
スカ、アナタノ方デハ會社ノ存立ノ上
ニ於テハ無論必要ガアルト云フコトカ
ラ御覽ニナッタナラバ——今日ノ需用
者ノ方面カラ見テ、寧ろ獨占區域ガ破
レテ、サウシテ某會社ガ少シモ動力料
ヲ負ケナイト云フ所ニ、片方カラ他ノ
乙會社ガ出來テ來テ、ソレヨリモ現ニ
安ク賣リツ、アルト云フコトヲ、如何
ニ需用者ガ喝采ヲシ、如何ニ横暴ナル
電氣會社ニ對シテ痛快味ヲ覺エテ居ル
カ、アナタハ此事實ガ御分リニナッテ
居リマスカ、其處ニ持ッテ來テアナタノ
妙ナ議論カラ——或ル意味ニ於テハ承
服スルガ、或ル意味ニ於テハ滑稽ト思
ハレルヤウナ議論ヲシテ居ル、兎ニ角
其議論ハ拔キニシテ、需用者ト云フ方
面カラ、獨占區域ト云フコトガ何處ガ
有難イノデスカ、電信柱二本立テレバ、
或ハ子供ガ遊ンデ居レバ怪我ヲスルカ
モ知レヌ、電信柱二本アルト云フト、
衛生上惡イカモ知レヌ、電信柱ガ二本

アルト混線スルカモ知レヌ、電信柱ニ本アルト隣ノ電線トクッ附クカモ知レヌ、或ハ電信柱二本アルト漏電シテ火事ガ出ルカモ知レヌ、衛生上ノ點カラモ、寧ロ工作上ノ點カラモ、風景ノ關係カラモ、何處ニ需用者ガ喜ビマスカ、單ニ是ハ供給者ノ方面ノ會社ノ方デモ、戰爭當時ニ於テ高イノ工作費ヲ掛ケテ大ナル資本デヤッタモノガ、今ヤ動力ガ非常ニ少クナッテ安イモノニ追捲ラレルト云フコトノ此悲痛ナ叫ヲアナタ方ハ提燈ヲ持ッテ居ルノカ、何處ニ需用者ガ之ヲ歡迎シマスカ

○小泉國務大臣 其點ニ付テ私ハ一言御答致シテ置キマス、高見君ノ御意見ヲ伺ヒマス、私共洵ニ御尤モト考ヘテ居ルノデアリマスガ、然ラバ今端のニ現在ノ料金ガ安イカ高イカ、安イ高イハ、申上ゲル迄モナク何カ其處ニ一ツノ目安ヲ置カナケレバナラス、高イカ安イカト云フコトノ目安ヲ作ルニ苦ンデ居ルノデアリマス、其目安ヲ實ハ捉ヘルノニ苦ンデ居ルノデアリマス、其理由ハ段々申上ゲマスガ、現在ノ制度デハ會社ノ内容等ヲ調査スル權能ヲ持ッテ居リマセヌノデ、果シテ其資金ニ適合シテ居ルカドウカト云フコトノ徹底的ノ調査ガ濟ンデ居リマセヌノデアリマス、是ダケハ私ハ申上ゲテ差支ナイト思ヒマス、此統制案ガ實行出來ル

ヤウニナリマシテモ、萬々一ナリマセヌデモ、我ガ遞信省ノ方針ト致シマシテハ、現在ノ電氣事業者ニ對シテ從來ノ遣方ヲ總テ改善ヲ致シマシテ、成ベク冗費ヲ省キ、サウシテ安イ物ヲ賣ラセル是ハ申上ゲル迄モナイノデアリマラバ、幸ニシテ本案ガ通過致シマシタナモ、發電其他ノ設備等ニ付キマシテモ、何處マデモ整備統制ヲ致シマシテ、事業者ノ方モ餘リ金ノ掛ラナイヤウニシテ、隨テ需用者ニ安イモノヲ買ハセシメ、買ハシメルト云フコトニサセタ

イト云フ方針ヲ以テ此案ヲ出シテ居リマス、一言ニシテ結ビテ申上ゲマスレバ、現在ヨリモ安イモノヲドウカ使ハシタ、ソレニ相違ナイノデアリマスガ、然ラバ何處ヲドウ云フ率ヲ以テ安クサセルカト云フコトニ付テハ御勘辨願ヒタイト云フコトハ其意味ヲ申上ゲタノデアリマス、ドウカ左様御諒承願ヒマス

○高見委員 ソレデハ私共承服シマセヌ、何故承服シナイカト云フト、電氣委員會ト云フモノハ、此法律ガ出來上ルト云フト、組織サレルノデアアルガ一年若クハ二年ノ後ニ此電氣委員會ハ組織サレルノデアリマスカ、何時組織サレル御考デアリマスカ

○小泉國務大臣 本會デモ御答致シマシタノデスガ、斯様ナ重要ナ法案デアリマスカラ當局ト致シマシテモ、亦電氣事業者ト致シマシテモ、其處ニハ相當ノ準備ト申シマセウカ、豫備知識ヲ與ヘル機關トデモ申シマセウカ、此機關ガ欲シイノデアリマスカラ、成ベクハ至急ニ實行シタイト思ヒマスケレドモ、昭和七年ノ一月カ若クハ本年度末ニハ之ヲ施行シタイト云フ希望ヲ持ッテ居ルト云フコトダケヲ申上ゲテ置ク次第デアリマス

○高見委員 サウシマス、電氣委員會ヲ組織シテ關係各廳高等官七人、知識經驗アル者八人、要スルニ電氣料金ノ標準ヲ決定シテ高イカ安イカト云フコトハ、八ヶ月ナリ九ヶ月若クハ一年ノ後ニ、アナタ方ノ方デ御分リニナラスト云フノダカラ、知識經驗アル御醫者サン八人集メテ、初メテ御決定ニナル積リデアリマス、其先ニ省議ニ於テ大體料金爭議ガ益、社會的ニ擴張シテ來ルガ、大體高イトカ安イトカ云フヤウナ原案ヲ少シモ御持チニナラズ、何處マデモ御待チニナッタ後ニ、御決定ニナル積リデアリマス

○小泉國務大臣 要スルニ高見君ノ御質問ハ現下焦眉ノ急ニ迫ッテ居ル電氣料金ノ爭議ニ對シテ遞信省ハドウ云フ考ヲ持ッテ居ルカ、此爭議ニ對スル決定ハ結局安イカ高イカドノ程度ノ料金ガ

當ヲ得テ居ルカ、ソレ等ニ付テハ此委員會ノ出來ルマデ放ッテ置クノカ、結論ハサウ云フ風ニ向ッテ居ルノデアリマスガ、ソレニ付キマシテハ遞信省ト致シマシテモ、今ノ爭議ニ對シマシテ、双方ニ相當ナ注意其他ノ訓令ヲ致シテ居リマスガ、何カ適當ノ例ガアリマナラバ、電氣局長カラ御説明ヲ致サセルコトニ致シマス

○高見委員 放ッテ置クノカト言ヘバ放ッテ置カナイト仰シヤルニ違ナイガ、現ニ一昨年カラ昨年ニ掛ケテ電氣料金ノ高イトノ議論ガ到處ニ出テ居ルデハアリマセヌカ、其時ニ於テ電氣局ハ高イカ安イカト云フコトノ肚ガ少シモ決ッテ居ラヌト云フノハ何事デアリマス、全ク無定見デアルノデアリマス

○富安政府委員 御答申上ゲマス、先程申上ゲマシタノハ一般抽象論ト致シマシテ、日本ノ只今ノ電氣料金ガ高イトカ安イトカ云フコトニ付テ、右トカ左トカ云フ御返事ヲ差控ヘタイト存ジマシタダケノコトデアリマシテ、個々ノ爭議ニ對スル處理ト云フコトハ、又別ノ問題デゴザイマス、個々ノ處理ニ對シマシテハ只今大臣ノ御話ニナリマシタヤウニ決シテ之ヲ放ッテ置クノデハゴザイマセヌ、唯今日ニ於キマシテハ、檢査ノ建前ト云フモノガ、料金認

ハ結局安イカ高イカドノ程度ノ料金ガ

可ヲ前提トシタ検査ガ及ンデ居リマセ
スノデ、何分ニモ決定の十分ナル資
料ヲ以テ高イトカ安イトカ、詰リ料金
認可ヲスルマデノ検査内容ヲ今日ハ
握ッテ居ナイ譯デアリマスケレドモ、今
日ノ建前ニ於キマシテモ、分リ得ル程
度範圍ニ於キマシテ、是ガ引下ゲル餘
地ガアルカ、又引下ゲルノハ無理デア
ルトカ云フコトニ付キマシテハ、出來
ルダケノ判斷ハ無論致シテ居ルノデア
リマス、刻々地方ノ第一監督官廳カラ
參ッテ居リマス報告意見等ニ依リマシ
テ、私共ハ具體的ニ當該ノ料金ニ付テ
十分ノ調査ヲ出來ル範圍ニ於テ致シテ
居ルノデアリマス、又其結果ニ基キマ
シテ、命令ト云フ形ハ執ッテ居リマセ
ケレドモ、適當ナル監督官廳ニ對スル
指示達ト云フヤウナ方法ヲ以チマシ
テ指令ヲ與ヘマシテ引下ゲルヤウニ
云フコトヲ勸告スルト云ヒマスカ、干
渉ト云ヒマスカ、サウ云フ方法モ講ジ
マシテ、現ニ料金ノ爭議ノ起リマシタ
以來、今日マデノ件數ヲ申シマスレバ
二百數十件ニモ上ッテ居ルト思ヒマス
ケレドモ、其中解決ト申シテモ程度間
題デ隨分ムヅカシイノデアリマスケレ
ドモ、先ヅ解決ト云ウテモ差支ナイ、
ソレ等ノ程度ニナッテ居ルモノハ百件
以上ニ達シテ居ルノデアリマス、左様
ナ所謂解決ヲ得ルニ至リマシタ所以ニ

至リマシテハ、中央ノ私共ニ於キマス
ル地方第一監督官廳ニ對スル指示達トカ
勸告トカ云フモノニ基クモノガ多クア
ルト思フノデアリマス、無論兩者ノ間
デ圓滿ニ妥協ガ付イタヤウナモノモア
リマスケレドモ、又私共ガ只今申上ゲ
マシタヤウナ指示勸告等ニ基キテ解決
シタモノガ隨分アルト思フノデアリマ
ス、決シテ放任致シテ居ル譯ノモノデ
ハアリマセヌ、又個々ノ爭議ニ對シマ
シテ、當該會社ノ料金ガ果シテ引下ゲ
キマシテ、分ラナイト云フコトデ手ヲ
束ネテ居ルト云フヤウナ譯デハ決シテ
ナイノデアリマス、出來ルダケノコト
ヲ只今ノ監督ノ建前ニ於テ致シテ居ル
譯デアリマスカラ、其點ハ左様ニ御諒
承ヲ願ヒタイ次第デアリマス

○高見委員 ソレデハ斯ウ云フ工合ニ
承ッテ見マセウ、二百件ノ事件ヲ御取扱
ニナッテ、大體ノモノ、大勢ノ流レト云
フモノガアル、其流レノ大局ハ今マデ
ノ電氣料金ヲ高イト大體御覽ニナッ
テ、爭議ガ多イカ、ソレカラ需要スル側ガ
無理ダト認メラレタ爭議ガ多イカ、ソ
レハドウ御考ヘニナッテ居リマスカ、モ
ノト云フモノハ十目ノ見ル所十指ノ指
ス所、モノニハ大局ト云フモノガアル、
モノニハ打算ト云フモノガアル、モノ
ニハ大綱ミト云フモノガアル、其大綱

ミノ上ニ於テ今マデニ起ッタ所ノ爭議
ヲ御調停ニナリ、御研究ニナリ、又ソ
レニ類似シタル電氣料金ヲ、需要者ニ
於テ不平ハ認メテ居ルケレドモ、微力
及バズシテ黙々トヤッテ居ルト云フヤ
ウナ色々ノ其處ニ不平不滿ト云フモノ
ガアリマセウガ、大體ノ潮流ハ、今日
ノ電氣料金ヲ高イト御考ヘニナッテ居
ルカドウカ

○富安政府委員 御答申上ゲマス、只
今ノ御話トビッタリ合ヒマスカ如何カ
ト存ジマスケレドモ、茲ニ數字のニ料
金ノ値下ノ件數ノ縣別ノ調ガアルノデ
アリマス、ソレヲ概觀致シマスルト、
昭和三年七月、是ハ富山縣ニ於テ料金
爭議ガ勃發致シマシタ其時デアリマス
ソレカラ五年九月マデ各月ニ互リマシ
テ値下ノ件數ガ上ッテ居ルノデアリマ
スケレドモ、一寸讀ンデ見マスト八件、
十三件、二十五件、二十六件、十二件
九件、二十二件、二十五件、大體斯ウ
云フヤウナ件數ノ値下ガ事實行ハレテ
居ルノデアリマス、事實行ハレテ居テ
其値下ニ依リマシテ、公益擁護等ノ結
果ガ生ジテ居ルトハ無論私共ハ考ヘテ
居ナイノデアリマスケレドモ、左様ナ
値下ガ事實行ハレテ居ルト云フ事柄ヲ
以チマシテ、適當ナ御判斷ヲ御下シ下
サレバ非常ニ幸ダト存ジマス

○高見委員 コチラノ適當ヨリモ、電
氣局ノ方デ値下ノ件數ガ大勢デア
ル、故ニ今後料金ヲ認可シテ行クト云フ場
合ニ色々ナ討論ガ起ッテ來ル場合ハ、大
體値下ヲスルコトガ宜イト御考ヘニナ
ッテ居ルカト云フコトヲ聽キタイノデ
アリマス

○富安政府委員 其點デアリマスト、
又一般抽象的ノ問題ニナリマスカラ、
先程大臣ノ仰シヤイマシタコトヲ又私
ガ繰返スコトニナリハシナイカト思フ
ノデアリマス、個々ノ問題ニ付キマシ
テハ、先程申上ゲマシタヤウニ個々ニ
審査ヲ致シマシテ、値下スルコトヲ適
當ト考ヘルモノモアリマセウシ、或ハ
要求スル方ガ無理ダト考ヘルモノモナ
イデハナイダラウト考ヘルノデアリマ
ス、是ハ個々ノ問題ニ歸著シハセスカ
ト思ヒマス

○高見委員 ソコデ一ツ更ニ質問ヲシ
テ見タイ事ガ起ッテ來ル、大體今日ノ電
燈料ハ高イ、是ガ値下ガ大勢デア
ル、又値下ヲスルヤウニ當局ハ肚ヲ定メテ
居ルノデアアル、其方針デ原案ヲ御出シ
ニナルト仰シヤルナラバ所謂供給區域
ノ獨占ト云フ所デ會社ノ無用ノ競争ヲ
保護スルト云フコトノ理窟ハ徹底シテ
來ルノデス、ソレハ需要者モ満足シマ
セウ、一般國民モ満足スルデセウ、其
處ガアナタ方ノ方デハ分ッテナイ、事實
上ニ於テ分ッテ居ッテ言ハレルノナラバ

アナタ方ハ嘘ヲ吐クノダケレドモ、分ッ
テナイ、其點ニ於テハ未ダ判斷ハ付イ
テ居ラヌノデアッテ、需要者ガ一方ニ於
テ安クセヨト云フコトヲ主張シテ居
ル、併ナガラソレガ妥當デアルヤ否ヤ、
又之ヲ安クシナケレバナラス大勢デア
ルカト云フコトニ對シテハ判斷ガ付テ

イカ分リマセヌニ至ッテハ、不親切極マ
ルデアリマセヌカ、デアリマスカラ
特ニ需要者ニ取ッテ——會社側ハ別デ
スヨ、今日此場合ニ於テ需要者ニ取ッ
テ獨占區域ト云フモノヲ指定サレルコ
トニ何ノ御蔭ヲ蒙ルノカト云フコトヲ
聽キタイ

○富安政府委員 スウ云フ風ニ私ハ考

ナイ、何遍聽イテモ繰返シ——大臣モ
ソレダケハ勘忍シテ吳レト仰シヤル、
アナタモ判斷ガ付カヌト仰シヤル、是
カラノ問題ダト仰シヤル、其時ニ於テ
獨占區域ト云フコトヲ需要者ハ何處ヲ
喜ブカ、何ノ利益ガアル、需要者ハ先
程申シタ如ク電信柱ヲ二本立テル、三
本立テル、今日甲ノ會社ト乙ノ會社ト
電信柱ガ別々ニ立ッテ居ルト云フコト
ガ、値段ガ甲ヨリモ乙ガ安クナル、乙
ヨリモ丙ガ安クナル爲ニ需要家ハ今マ
デ居ル、ケレドモ當局ノ大局カラ見タ
ナラバ、サウカト云ウテ會社ヲ絶滅サ
セル譯ニ行カナイ、ダカラ會社ハ保護
シナケレバナラスト斯ウ言ハレルケレ
ドモ、今ノ程度デ値段ハ高イカ安イカ
分ラナイ程度ニ於テ會社保護ノ獨占區
域ト云フコトハ、徒ニ會社ヲ保護シ、
專制ノ會社ニナル、今日空氣ト米ト電
氣デ人間ハ生活シテ居ル、其モノヲ或
ル個人會社ニ於テ獨占シテ、而シテ値
段ガ高イカ安イカト聽イタラ高イカ安

ヘテ居ルノデアリマス、料金が將來安
クナルト云フ目途ヲ置カナイデ動イテ
居ルト云フヤウナ前提ヲ御持チ下サル
ナラバ、決シテサウ云フ譯デハナイノ
デアリマス、料金ハ先程申上ゲマシタ
ヤウニ、成タケ安ク、出來ルダケ安ク
サセルベキモノダト云フ根本目的ノ爲
ニ總テノ私共ノ行政ハ動イテ居リマス
ト云フコトハ、是ハ申上グルマデモナ
イ事ダト思フノデアリマス、唯只今ノ
料金ガ公正ナモノデアルカ不正ナモ
ノデアルカト云フコトニナリマスレ
バ、ソレヲ私共ハ今日斯ウ云フ席上
ニ於キマシテ、右トカ左トカ云フダケ
ノ資料ヲ持合セテ居ナイト云フダケノ
話デアリマシテ、安クサセルコトノ一
念カラ、私共ハ總テ動イテ居ルノダト
云フコトハ、是ハ當然ナ話デアリマス
カラ、其點ヲ御諒解願ヒマスレバ、御
答ヲ受ケルヤウナコトモナクテ濟ムノ
デハナイカト思フノデアリマスガ、如
何デアリマセウカ

○高見委員 ソレデハ一種ノアナタノ
理想ダケデアッテ、ソレデハ當局ノ答辯
ニハナリマセヌ、何故ナラバ當局ハソ
レヲ論理的ニ眺メテ安イトカ高イトカ
言フガ國民生活上カラ出發シテ安イ高
イト云フ觀念ヲ此時ノ場合ニ於テ持ッ
テ居ッテ、初メテソレガ今度ノ當局ノ立
場デス、安クシヨウト思フ、是ハアナ
タニ電氣局長ヲ御願セヌデモ、全國民
ガ、電氣料ヲ安クシヨウト思フト云フ
ヤウナ聲明ヲ聽イテ誰ガ満足スルモノ
デスカ、ソナ當局ガ何處ニアリマス
カ、苟モ當局ノ立場ト云フモノハ今日
頻々トシテ電氣爭議ガ起ッテ居ル爲ニ、
之ニ對シテハ現ニ四十四億ノ電氣ニ關
スル資本ガ投資サレテ居ル、ケレドモ
昔日ト違ッテ今日ハ非常ニ電氣ハ空氣
ト米ト水ト電氣ト言ハレル位ニ必要ナ
ル國ノ存在ノ根本デアル、然ルニ其モ
ノハ現在ニ於テハドウシテモ是ハ高
イ、減額サセナケレバナラス、會社ハ
保護スル方ガ宜イデセウ、現ニ公々然
トシテ保護スルコトニナッテ居ル、或ハ
社債ヲ大ニ募集スル所ノ特權ヲ認メル
トカ、全部拂込ヲ維持シテ社債ヲヤル
ト云フ所ニ、商法ノ規定ニ關シテノ特
別ナル保護ノ規則モ現ニ出テ居ル、若
シモマダ足ラネバ資本ヲ切下ゲテ、必
要ナ場合ニ於テ政府ガ補助シテモ宜シ
イトナッテ居ル、サウシテ五燭ノ電氣ヲ

點ケルト約束ヲシテ三燭ヲ點ケル、十
五燭ノ電氣ヲ點ケルト云ウテ八燭ヲ點
ケル、斯ウ云フコトニシテ電氣業者ガ
狡イ事ヲスルコトガ、ドレ程多ク國民
ノ保健ノ上ニ、子供ノ養生ノ上ニ、事
業ノ發達ノ上ニ損害デアルカモ知レマ
セヌ、デアリマスカラ場合ニ依ッタナ
ラバ今日ノ會社ガ立行カヌモノナラバ
金ヲ貸シテヤッテモ宜シイ、低利資金ヲ
御貸ニナッテモ宜カラウ、何デモ國家ガ
保護スル途ヲ開クガ宜イ、ケレドモ若
シモ高イモノデアルトシタナラバ、是
ハ思切ッテソレニ對スル努力ヲ考ヘナ
ケレバナラス、今日四十四億ノ大資本
デアル所ノ日本ノ今日ノ經濟ノ根幹デ
アル此事業ヲ、而モ人間ノ日々ノ生活
ニ即シテ離ルベカラザル今日ノ電燈料
ガ、大體ニ於テ高イカ安イカト云フコ
トニ關スル資料ヲ持タヌトハ何事デア
リマスカ、安クシヨウト云フコトハ今
ハ説明ニナリマセヌ、ソナ答辯ナラ
バ私ガアナタニ代ッテ電氣局長ニナッ
テモ幾ラデモ答辯シマス、實際高イト思
フ、ソレ故ニ之ヲ安クシヨウト云フコ
トニ於テ初メテソレガ答辯ニナル、今
ノ御言葉デハ答辯ニナリマセヌ、ソコ
デ私ハモウ一遍進ンデソレヲ聽キタイ
ケレドモソレハ資料ガナイト仰シヤル
ノダカラ、ソレハナイト仰シヤイマシ
テモ吾々ハ其答辯ニ全然満足スルコト

點ケルト約束ヲシテ三燭ヲ點ケル、十
五燭ノ電氣ヲ點ケルト云ウテ八燭ヲ點
ケル、斯ウ云フコトニシテ電氣業者ガ
狡イ事ヲスルコトガ、ドレ程多ク國民
ノ保健ノ上ニ、子供ノ養生ノ上ニ、事
業ノ發達ノ上ニ損害デアルカモ知レマ
セヌ、デアリマスカラ場合ニ依ッタナ
ラバ今日ノ會社ガ立行カヌモノナラバ
金ヲ貸シテヤッテモ宜シイ、低利資金ヲ
御貸ニナッテモ宜カラウ、何デモ國家ガ
保護スル途ヲ開クガ宜イ、ケレドモ若
シモ高イモノデアルトシタナラバ、是
ハ思切ッテソレニ對スル努力ヲ考ヘナ
ケレバナラス、今日四十四億ノ大資本
デアル所ノ日本ノ今日ノ經濟ノ根幹デ
アル此事業ヲ、而モ人間ノ日々ノ生活
ニ即シテ離ルベカラザル今日ノ電燈料
ガ、大體ニ於テ高イカ安イカト云フコ
トニ關スル資料ヲ持タヌトハ何事デア
リマスカ、安クシヨウト云フコトハ今
ハ説明ニナリマセヌ、ソナ答辯ナラ
バ私ガアナタニ代ッテ電氣局長ニナッ
テモ幾ラデモ答辯シマス、實際高イト思
フ、ソレ故ニ之ヲ安クシヨウト云フコ
トニ於テ初メテソレガ答辯ニナル、今
ノ御言葉デハ答辯ニナリマセヌ、ソコ
デ私ハモウ一遍進ンデソレヲ聽キタイ
ケレドモソレハ資料ガナイト仰シヤル
ノダカラ、ソレハナイト仰シヤイマシ
テモ吾々ハ其答辯ニ全然満足スルコト

ハ出來ナイノミナラズ、其答辯ハ非常ニ無價値デアリ、而シテ我が日本帝國ノ最重要ナル産業デアル所ノ電氣事業ニ關係シテ今日定メテ居ル所ノ値段ハ、國民生活ノ上、會社全體ノ上ニ於テ高イカ安イカ分ラヌト云フヤウナ觀念ニ至ッテハ、驚クベキ怠慢ナル當局デアルト吾々ハ斷定シテ宜イト思フ、ソレハ別ニシテモウツ聽キタイノハソコデ國民ノ需要者ノ方面カラ見テ是ノドウ云フ所ヲ需要者ガ喜ブノデスカ、ソレヲ聽キタイ後刻調ベテ後デ答辯シテ貰ッテモ宜シイ

○森委員 私ハ本法案ノ中ニ特ニ國ノ電氣事業ヲ除カレマシタコトハドウ云フ意味デアリマスカ御尋致シタイ○小泉國務大臣 只今森君ノ御尋ニ御答致シマスガ、第三十一條ニ於テ「國ニ於テ電氣事業ヲ營ムントスルトキハ當該官廳ハ主務官ト協議スベシ」國ニ於テ電氣事業ヲ營ムコトガ出來ルノデアリマシテ、是ハ除外シテ居ラヌ積リニナッテ居リマス

○森委員 特ニ「國ニ於テ營ム電氣事業」云々トシテアッテ、別ナ法律ヲ定メルト云フコトヨリハ、權威アル此法案ニ含メルト云フコトガ、私共ハ電氣事業發達ノ爲ニ特ニ電氣事業ノ統一、電氣ノ利用ノ爲ニ然ルベキモノト思ヒマスガ、此點ニ付テハ如何デアリマスカ

○富安政府委員 御答申上デマス、私チヨット御質問ノ趣旨ヲ取違ヘテ居ルカモ知レマセヌガ、私ノ了解致シテ居ル所ニ於キマシテ御答致シマス、國ニ於テ營ム電氣事業ニ付テハ、三十一條ニ御覽ノ通條文ヲ設ケマシテ、特ニ規定ヲ置イテアルノデ、除外ヲシテ居ナイコトハ只今大臣ノ御話ノ通りデアリマス、併ナガラ國ニ於テ營ム電氣事業ト、一般ノ民間ガ營ム電氣事業ニ付キマシテハ、事柄ノ本來ノ性質上、之ニ對シマスル監督其外ノ點ニ於キマシテ差異ヲ設ケルコトハ當然ノ話デアリマス、其結果國ニ於テ營ム電氣事業ニ對シテ、適用サレル條文ガ或ル必要ナモノ、サウシテ又ソレ以上ノモノニハ及バナイト云フ建前ヲ以チマシテ、茲ニ在ルモノハ適用スルガ、其他ハ適用シナイト云フコトヲ、此二項ニ於テ謳ッテ居ルノデアリマス

○森委員 刻下ノ電氣界ノ現狀ヲ見マスト、大臣及ビ政府委員ノ説明デハ、昭和十一年ニハ電氣ガ不足スルト仰セラレテ居リマスガ、私共ガ考ヘマスト、我國ノ電氣界ノ現狀ハ、金解禁ニ依ル財界不況ノ結果ト致シマシテ、昨年ノ夏頃以來ハ從來五「パーセント」カラ十五「パーセント」位年々遞増シテ參リマシタ所ノ電氣ハ、昨年ノ八月頃ヲ頂點ト致シマシテ、漸次遞減シテ居ルノデア

リマス、然ルニ國ニ於テ營ム電氣事業即チ遞信省ノ意見ハ違フカモ知レマセヌガ、鐵道省アタリニ於キマシテハ、信濃川ノ水力ガ發電ヲスル、斯ウ云フコトデアリマスガ、是ハ電氣ノ利用トカ統制トカ云フ點カラ考ヘマシテ、如何ニモ矛盾デナイカト思フ、私ハ此點ハヤハリ別段國デ營ムモノモ、特ニ制限ヲ設ケズ、總テノ場合ニ於テ、特殊ノ例ヘバ社債トカ増資トカ云フモノハ別デスガ、ソレ以外ニ付テハ全部本法案ヲ適用スルト云フコトガ相當デハナイカト思ヒマス、此點ニ付キマシテ遞

信大臣ハ常ニ考慮セラレテ、統制ノ埒外ニハ置カヌト申サレテ居リマスガ、此法案ニ依ルト物足ラヌヤウナ點ガアリマス、ドウゾ此鐵道省アタリデ例ヘバ現在非常ニ餘ル電力、之ヲ民間カラ需用スルナラバ、民間ノ會社ハ其鐵道省ヨリ、收入スベキ金額ヲ、料金値下其他ニ使ハレ、又サウシナイ場合ニ於テハ、社債ガ堅實ニナル譯デアリマスガ、鐵道省ガ——特ニ國ハ別個ノ方針ニ依ッテ、電氣事業ヲ營ムモノデアアル、サウ云フコトデアアルナラバ現ニ川崎ニ於テ非常ニ高イ——私共ガ考ヘマシレバ、民間デ造ルヨリハ倍モ三倍モスルヤウナ火力發電所ヲ造リ、サウシテ此火力デ起シテ居ルモノガアル半面ニハ、民間事業會社ガ收入減ニ陥ル、斯

ウ云フ點カラ考ヘマシテ、國ノ大局ノ上カラ申上ゲルナラバ、非常ニ電氣事業ノ助成發達ヲ阻害スル、阻止スル、此意味カラ國ニ於テ營ム電氣事業モ當然本法案ノ範圍ニ於テ、適用ヲ怠ルベカラザルモノト考ヘマス

○富安政府委員 此點ニ付テ只今仰セニナリマシタ鐵道省ト云フ意味ニ於テ、國ニ於テ營ム電氣事業、ソレニ對シテ統制ノ及バナイヤウナコトニナッテ行キハシナイカト云フ御話カト了解致シタノデアリマスガ、サウ云フコトニハナッテ居リマセヌノデ、第二項ニアリマス適用シナイ條文、半面ニ適用スル條文ガ現レテ居ルノデアリマスガ、御例示ニナリマシタ統制上ノ必要ニ基イテ、二十四條ノ命令ニ依ッテ適用スルコトニナッテ居ルノデアリマス、ヤハリ鐵道省ノ營ム電氣事業ト云フモノハ、統制上ノ必要ニ基ク命令ニ服スルノデアリマス、特ニ第一項ノ後段「事項ヲ變更セントスルトキ亦同ジ」ト云フヤウナコトデアリマシテ、將來更ニ何カ鐵道省ニ於テ最初出テ居リマス計畫ノ變更ノ如キモノヲシヨウト致シマスナラバ、是亦第三十一條ノ第一項ノ適用ニ依リマシテ遞信大臣ト協議シナケレバナラナイト云フコトニナッテ居ルノデアリマス、御話ニナリマシタヤウナ統制上遺憾ハナイカト云フ御趣旨ニ對

シマシテハ、之ヲ以チマシテ遺憾ナキヲ期シ得ル積リデアリマス

○清瀨委員 關聯事項ニ付テ——只今シテ、統制命令ヲ出シマスルニモ、國以外ノモノ、營ム電氣事業ニ對シテ、命令ト云フ形ヲ以テ行クノヲ、ソックリ其儘同ジニスルト云フコトデナク、命令ト云フ言葉ヲ避ケマシテ、マダ勅令ノ内容ニ互ツテハッキリ申上ゲマス程度ノコトヲ持ツテハ居リマセヌケレドモ、例ヘテ申シマスナラバ通知ヲスルトハ、請求ヲスルトカ、何レニ致シマシテモ命令ト云フ言葉ヲ用ヒナイケレドモ、主務官廳カラ片面的ナ或ル働掛ケヲ意味スルヤウナ言葉ヲ以テ別段ノ定テ居ルノデアリマシテ、之ニ依リマシテ統制上ニ缺クルコトノ生ズルヤウナ結果ハ萬々ナイト考ヘテ居ルノデアリマス

○森委員 私共ハ電氣ノ利用トカ統制ト云フ場合ニ於キマシテ、目下最モ必要ヲ感ジテ居ルノハ國ノ營ム電氣事業即チ先程例ヲ申シマシタガ、鐵道省ノ鐵道用電力ナドハ其最モ大ナルモノデアルト思ヒマス、之ヲ特ニ別段ノ定ヲ以テスルト云フコトデ、本法カラ除外スルト云フコトハ、本法ノ權威ヲ傷ケルト云フヤウナ意味ニ於テ、私共ハ此第二十四條ハ何處ヲドウ云フ風ニ考ヘテ見マシテモ之ヲ除外スル必要ハナイデヤナイカト思ヒマスガ、其點ヲ御尋致シマス

ハナイ、名前ハ半官半民トシヨウトモ、別段政府ガ一錢ノ金ヲ出サナクテモ、我國ノ電氣事業ハ政府ノ命令デアアルナラバ、大抵ノコトハ此法律ガ出ナクトモ十分ニ電氣事業ガ行ハレマス、此意味カラ致シマシテ一定ノ買收價格ヲ定メル、其買收價格ハ從來ハ電力會社ノ配當ハ大抵一割ヲ標準トシテ二三分ヲ高下シテ居リマシタガ、今日ハ財界不況ノ爲ニ株式ノ配當モ非常ニ低下致シマシテ、一割ヲ超過スルモノハ殆ドナクナリマシタ、此電氣ノ株式ニ對スル國民ノ觀念モ一時ハ國債同様ニ尊重サレマシタガ、今日ハ其株式ハ殆ド反古紙同様ニナリマシタ、其結果トシテ不況ノ一半ハ電氣事業ノ不況カラ來ッテ居ルモノデアリマス、デアリマスルカラ之ヲ相當ノ率、即チ八分ナリ七分ナリヲ標準トシテ日本ノ電氣會社ノ全部ヲ買收統一シテ、之ニ對シテ政府ハ此法律ニ唯一點高見君ガ問題ニシテ居リマシタ料金ノ裁定ヲスル場合ニ於テハ、可能配當ヲ六分トスルト云フ標準ヲ置イテスルナラバ、高見君ノ質問ノ如クドウシテハハ値段ヲ下ゲル方針ニナラヌカ、サウ云フ基準カラ出發シタノデヤナイカト思ヒマス、是マデ一割ヲ標準ニシテ居ッタモノハ、六分ノ配當ヲスルコトニシテ、料金ノ裁定ヲ爲スナラバ、今後ノ料金ハ下ッテ來ル是ハ最モ

○清瀨委員 關聯事項ニ付テ——只今シテ、統制命令ヲ出シマスルニモ、國以外ノモノ、營ム電氣事業ニ對シテ、命令ト云フ形ヲ以テ行クノヲ、ソックリ其儘同ジニスルト云フコトデナク、命令ト云フ言葉ヲ避ケマシテ、マダ勅令ノ内容ニ互ツテハッキリ申上ゲマス程度ノコトヲ持ツテハ居リマセヌケレドモ、例ヘテ申シマスナラバ通知ヲスルトハ、請求ヲスルトカ、何レニ致シマシテモ命令ト云フ言葉ヲ用ヒナイケレドモ、主務官廳カラ片面的ナ或ル働掛ケヲ意味スルヤウナ言葉ヲ以テ別段ノ定テ居ルノデアリマシテ、之ニ依リマシテ統制上ニ缺クルコトノ生ズルヤウナ結果ハ萬々ナイト考ヘテ居ルノデアリマス

○清瀨委員 サウスルト唯何デゴザイマスカ、統制法規ノ趣意ニ於テハ違ハナイ、唯民間ニ對シテハ命令ヲスルトカ、許可スルトカ、文字ヲ變ヘルダケノ——取扱振リヲ變ヘルト云フ意味ニ承知シテ宜シウゴザイマス

○富安政府委員 左様ニ御諒解ヲ願ヒタウゴザイマス

○富安政府委員 第二十四條ニ付キマシテ、別段ノ定ヲ爲スコトヲ得ルト規定シマシタ趣旨ハ、ソレハ國ニ於テ營ム電氣事業デアルト云フコトニ鑑ミマシテ、統制命令ヲ出シマスルニモ、國以外ノモノ、營ム電氣事業ニ對シテ、命令ト云フ形ヲ以テ行クノヲ、ソックリ其儘同ジニスルト云フコトデナク、命令ト云フ言葉ヲ避ケマシテ、マダ勅令ノ内容ニ互ツテハッキリ申上ゲマス程度ノコトヲ持ツテハ居リマセヌケレドモ、例ヘテ申シマスナラバ通知ヲスルトハ、請求ヲスルトカ、何レニ致シマシテモ命令ト云フ言葉ヲ用ヒナイケレドモ、主務官廳カラ片面的ナ或ル働掛ケヲ意味スルヤウナ言葉ヲ以テ別段ノ定テ居ルノデアリマシテ、之ニ依リマシテ統制上ニ缺クルコトノ生ズルヤウナ結果ハ萬々ナイト考ヘテ居ルノデアリマス

○清瀨委員 之ニ付テハモウ少シ質問シタイノデスガ、私ノ次ノ質問ノ時マデ保留シテ置キマス

○富安政府委員 左様ニ御諒解ヲ願ヒタウゴザイマス

○富安政府委員 第二十四條ニ付キマシテ、別段ノ定ヲ爲スコトヲ得ルト規定シマシタ趣旨ハ、ソレハ國ニ於テ營ム電氣事業デアルト云フコトニ鑑ミマシテ、統制命令ヲ出シマスルニモ、國以外ノモノ、營ム電氣事業ニ對シテ、命令ト云フ形ヲ以テ行クノヲ、ソックリ其儘同ジニスルト云フコトデナク、命令ト云フ言葉ヲ避ケマシテ、マダ勅令ノ内容ニ互ツテハッキリ申上ゲマス程度ノコトヲ持ツテハ居リマセヌケレドモ、例ヘテ申シマスナラバ通知ヲスルトハ、請求ヲスルトカ、何レニ致シマシテモ命令ト云フ言葉ヲ用ヒナイケレドモ、主務官廳カラ片面的ナ或ル働掛ケヲ意味スルヤウナ言葉ヲ以テ別段ノ定テ居ルノデアリマシテ、之ニ依リマシテ統制上ニ缺クルコトノ生ズルヤウナ結果ハ萬々ナイト考ヘテ居ルノデアリマス

○富安政府委員 第二十四條ニ付キマシテ、別段ノ定ヲ爲スコトヲ得ルト規定シマシタ趣旨ハ、ソレハ國ニ於テ營ム電氣事業デアルト云フコトニ鑑ミマシテ、統制命令ヲ出シマスルニモ、國以外ノモノ、營ム電氣事業ニ對シテ、命令ト云フ形ヲ以テ行クノヲ、ソックリ其儘同ジニスルト云フコトデナク、命令ト云フ言葉ヲ避ケマシテ、マダ勅令ノ内容ニ互ツテハッキリ申上ゲマス程度ノコトヲ持ツテハ居リマセヌケレドモ、例ヘテ申シマスナラバ通知ヲスルトハ、請求ヲスルトカ、何レニ致シマシテモ命令ト云フ言葉ヲ用ヒナイケレドモ、主務官廳カラ片面的ナ或ル働掛ケヲ意味スルヤウナ言葉ヲ以テ別段ノ定テ居ルノデアリマシテ、之ニ依リマシテ統制上ニ缺クルコトノ生ズルヤウナ結果ハ萬々ナイト考ヘテ居ルノデアリマス

値段ノ上ニ明カナル譯デアルカラ、此法律ヲ出ス前ニ、又之ヲ出シテシマツテモ宜シト思ヒマスガ、電氣事業ノ統一、斯ウ云フ考ヲ持ッテ居ルカ居ラスカ、又將來サウ云フコトヲ考慮スベキモノナリヤ否ヤト云フコトノ當局ノ御所見テ承リタイ

○小泉國務大臣 森君ノ御質問ニ御答致シマス、電氣事業ノ全部ノ統一ヲ致シマスルコトハ、是モ理想的デ、料金ノ制度ニ付キマシテモ非常ナ便宜デアラウト思ッテ居リマスガ、先程國營ニスル意思ガアルカドウカト云フ御尋ニ對シテ御答辯致シマシタ通り、目下ノ所デハ直ニ實行スルコトハ如何デアラウカ、多少研究モ致シマシタケレドモ、現在ニ於テハ、先ヅ此提出致シテアリマス法案ニ依ッテ御協賛ヲ願フノガ差當リ電氣事業ヲ統制合理化スル一番ノ近道デアアル、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマシテ、將來ニ付キマシテハ其點マデ考慮研究致スコトニハ致シマス

○森委員 森君ノ御質問ニ御答

別ニ配當率トカ其他ニ付テ一定ノ標準ヲ表ハサズニ置クノガ一番宜カラウ、

ソレカラ料金ノコトニ付テ六分配當ト云フヤウナコトヲ目標ニシタナラバ直グ決ルヂヤナイカト云フ御尤ナ仰セデアリマスガ、之ヲ致シマス——私ハ至ッテ此方ハ素人デアッテ分リマセヌケレドモ、此財界不況ノ時代ニ電氣事業ダケガ一般ニ何分ノ配當、或ハ何割ト云フヤウナコトニナリマス、財界

ニ非常ナ「ショック」ヲ與ヘマシテ、大變有利ナ會社モアリマセウ、或ハソレガ爲ニ立行カヌ會社モアリマセウ、又實際ニ於テ不可能ナル會社ガアリハセヌカ、要スルニ財界ニ衝動ヲ與ヘマセヌコトハ、目下ノ所大イニ考慮シナケレバナラス、斯様ナ考ガアリマスノデ別ニ配當率トカ其他ニ付テ一定ノ標準ヲ表ハサズニ置クノガ一番宜カラウ、

ニ於テ可能配當六分以上ハ認メナイ、可能配當六分程度ヲ以テ料金ノ最低標準トスルナラバ、電氣需用者側モ安イ電氣ガ使ヘル、其意味ハ日本ノ電氣事業者ノ配當ハ一割ヲズット下ル、而モ財界ノ信用ハ非常ニ低下シテ、資金トシテ使フノニモ高利デナケレバ使ヘナイ、會社ノ株式ハ反古紙同様ニナッテシマフ、デアリマスガ故ニ今日ノ不況モソレカラ來ル所ガ多イノデアアル、小泉遞相ノ如キ德望高キ人ガサウ云フ統一案ヲ提ゲテ行クナラバ、本法案ヲ實行スルヨリモモット將來ニ面倒ガナクテ宜カラウ、此仕事ハ如何ニ考ガ好クモ之ヲ發表シ又之ヲ實行スル最初ノ御方ガ小泉遞相ノ如キ德望高キ人デナケレバ實行ガ至難デアアル、其例ハ小泉遞相ガヤレバ郵便貯金ノ値下ゲモ何デモ誰デモ文句ヲ言ハズニ御尤モ、デアアルカラ小泉遞相ガ現閣僚ノ一人デアアル以上ハ、今日ノ不景氣今日ノ國民ノ苦ミヲ無視スルコトハ出來マイ、田舎ニ行ッテ見マスレバ、實ニ農民ハ食フニモ食ナク、殊ニ最モ重キ義務觀念ヲ持ッテ居ル所ノ納税ハ、全ク一枚ノ着物マデモ賣拂ッテシナケレバナラスト云フ窮狀ニアルガ故ニ、小泉遞相ハ茲ニ自己ノ德望ノアル以上ハ、此衝ニ立ッテ居ル以上ハ、一層ノ勇ヲ揮ッテ日本ノ財界ノ立直シノ爲ニ又當面ノ不景氣打壞ノ爲

ニ、斯ウ云フ案ヲ提ゲテ立ッ意氣ハナイカ、又是レアルコトヲ私ハ希望スル、サウスルコトハ延イテハ一般消費者ノ非常ナ利益デアアル、只今高見君カラモ電氣事業ガ果シテ獨占區域ガ善イカ惡イカト云フ質問モアリマシタガ、私共ガ昨日モ本所へ行ッテ見マス、江東方面ニ於キマシテハ、前年東京電氣ハ東京電燈ト競争スル爲ニ一億以上ノ金ヲ出シテ其中殆ド何等今日利用ノ出來ナイモノガ七千萬圓以上アル、七千萬圓以上ノ資ヲ出シテ江東方面ニ引張ッタ所ノ地下線、ソレガ又今日三度繰返サレテ日本電力ガアノ大資本ヲ掛ケテ地下線ヲ引イテ居ル、是ハドウ考ヘテモ電氣事業者ノ使フ金モ國家ノ資本デア、國家ノ資本デア以上ハ如何ニモ勿體ナイ、而モ其衝ニ小泉遞相ノ如キ人ガアッテ之ヲ默過スルト云フコトハ、如何ニモ容易ナラザルコトデハナイカト思フ、故ニ遞相ハ斯ノ如キコトヲ二度三度シナイヤウニ、今ノヤウナ最モ行フニ容易ク、而モ將來非常ニ國民利福ニ資シ得ルヤウナ案ヲ、百尺竿頭一步ヲ進メテ御提出ナサル御意思ハアルカナイカト云フコトヲ御尋致シマス

○小泉國務大臣 森君ノ御尋ニ對シテ私ノ御答シタノハ少シ間違ッテ居タコトヲ私發見致シマシタ、成程森君ノ御説ノ如ク、現在ノ電氣事業者ヲ全然統

一致スコトガ、サウシテ相當ナル配當率ヲ政府ガ之ニ干渉シテキメルコトガ理想的デアリ、而モ此電氣事業者ノ悲況ナ時ニ即チ配當モナイ、若クハ配當ガ非常ナ割ノ惡イト云フ時ニ於テコソ、此合同ハ一番好イ時機デアルト云フヤウナ御説デアリマスガ、私モ其通り考ヘマス、併ナガラソレヲ行ハント致シマスナラバ、中々ドウモサウ一朝一夕デハ行ヘナイ、多少其邊モ考慮シ

シマシタガ、御話ノ中ニ又其處ニ日電ガ進出シテ再ビ地下線ナドヲ引イテ競争シテ居ルデハナイカ、此點ニ付テモ特ニ憂慮致シテ居リマス、目下以前ノヤウナ火ノ出ルヤウナ、血ヲ見ルヤウナ激甚ナル競争ヲ致サナイヤウニ全ク誠意ヲ以テ努力致シテ居リマシテ、ドウカサウ云フコトノナイヤウニ努メテ居リマスカラ、此點モ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

マ、併シハ大臣ニ於カレマシテ躊躇サレマスガ、何卒政府當局ニ於カレマシテモ、其點ヲ御參考ニサレルコトノ私ハ希望ヲ申上ゲテ置キタイト思ヒマス、尙ホ籲ッテ此官營ヲ除カレタ點ニ付テ一言申上ゲマス、是モヤハリ民間事業會社ノ競争ノ場合ニ於ケル江東方面ニ於ケル地下線ノ如キモノ——川崎ナドヘ行ッテ見ルト私川崎ヘ始終行ッテ居リマスガ、彼處ノ火力發電所ニ於キマシテハ東京電燈ノ五萬「キロ」ノ發電所ガ何年間カ煙ヲ出シテ居リマセス、其處ヘ持ッテ來テ遞信省ガ七萬五千「キロ」造リ、又日電ガ七萬五千「キロ」造ル、是モ今ニ嗜眠狀態ニ陥ルモノト思ヒマスガ、如何ニモ國帑ヲ徒ニ空費スル一時ノ感情ヤ又政府ノ方針ノ誤レルガ故ニ斯ノ如キ無駄ヲスルト云フコトハ遞信大臣ニ於テ此點モ特ニ御考慮ヲ將來ニ於テ願ヒタイト思ヒマス

斯ウ云フ場合ニ區域ガ獨占サレマスレバ、必ヅ其處ニ問題ガ起ル起ル、場合ニ於テハ是モ此法律ニ明記シテ、本法制定ノ根本原則タル供給區域ノ獨占ト併セテ、事業者ノ電力料金其他ノ紛議ノ時ニ於ケル裁定此二點ダケハ、此認可制度ヲ實施スル以上ハ絕對必要ナコトデハナイカト思ヒマスガ、二點ニ付キマシテ遞信大臣ノ御意見ヲ承リタイト思ヒマス

タコトガアリマスガ、目下ノ急ニ應ズルコトハドウダラウ、殊ニ又電氣事業者ノ間ニハ其組織竝ニ運用上ニ於テハ各々色々ナ行途ヲ持ッテ居リマセウシ、性質ヲ異ニ致シテ居リマス關係上、只今ノ御説ノヤウナコトヲ實現致スコトハ極メテ至難デアッテ、而モ時日ヲ要スルコトデアラウト思ヒマス、殊ニ御前ハ勇氣ハナイカト云フ仰セガアリマスガ、此際其處マデノ勇氣ニ缺ケテ居リマスカラ、今直チニ實現ハドウカト考ヘマス、德望ノ點ノ御稱讃ハ感謝致シマスガ、逆モ是ハアナタ方ガ德望ガアルカラヤレ——ト仰シヤッテモ、實行ハ

○森委員 遞相ハ私ノ申上ゲタコトガ非常ニ困難ノヤウニ仰セラレマスガ、併シ本法案ヲ實施スルニ當リマシテ、私ノ最モ困難ト感ジマスノハ先程高見君カラ質問ノアリマシタヤウナコトガ高見君ノ御説モ相當此料金裁定等ニ付キマシテ、標準ガ何處ニ在ルカ何目的ニヤッテ居ルカ、値下ヲ目的デナイト云フコトカラ行キマス、隨分今日ノ思想上カラ考ヘテ是ガ實施ニ當リマシテハ困難ヲ來スカト思ヒマス、ソレニ比較致シマシテ私ノ申上ゲテ居ルノハ、今日ハ八分ナラ八分ノ配當ヲ以テ新會社ノ株券ヲ配當スルガ、將來ハ六分配當ヲ標準ニシテ裁定スルコトニナレバ、是ハ必ズ何割カ値下ルカラ此點ニ於テハハッキリ値下ラスルコトハ、現狀ノ儘デハ中々其事ガ困難ト思ヒマス、デ高見君ノヤウナ御質問ガ起ルノハ是ハ故ナキコトデハナイト考ヘ

更ニ一點御尋申シタイノハ、此法案ヲ拜見シマスルト區域ノ獨占ガ先程カラ非常ニ問題ニナッテ居リマスガ、區域ノ獨占ト云フコトガ明示シテナイ、此認可制度ヲ實施スルニ當リマシテハ、區域ノ獨占ハ當然ノモノデアアル、又區域ノ獨占ヲシタ以上ハ眞ニ統一ガ出來タ場合ヲ除ク外、現狀ニ於キマシテハ民間事業者間ノ處置詰リ甲會社ニ對シテ乙電力會社ガ電力ヲ供給シテ居ル、

○小泉國務大臣 前同ノ御答ノ時ニモ申上ゲマシタ通り、本案ハ電氣事業委員會ノ慎重ナル審議ノ結果、其答申ニ基キマシテ、簡單ニ申シマス、獨占ハ原則トシテ、特定供給ヲ許スコトガアル、斯様ナ答申ヲ得テ居ルノデアリマシテ、御質問ノ如ク料金認可制度ニ致シマス、獨占ヲ原則ト致シマス、ラバ、ドウシテモ料金ヲ認可制度ニシナケレバナラス、唯ソレダケヲ本案ニ認メテ置キマセヌ理由ハ、供給區域ハ獨占トスト云フコトニ絕對ニナッテ居リマスレバ明瞭ニナルノデアリマスガ、ドウモ現在ノ狀態ニ於キマシテハ、未ダ絕對ノ獨占ハドウデアラウカト思ヒマス、殊ニ獨占ノ弊害ニ付テハ屢々御意見モアッタヤウデアリマス、特定供給ヲ許スト云フコトヲ其條項ニ附加ヘテ置キマス、法ノ精神ト政策ト相並ベテ——何處マデモ此法規ノ成立

困難ダト思ッテ居リマス、後段ノ東京ニ於ケル管テ東電東邦ノ競争ヲ起シテ現ニ國家ハ非常ナル金ヲ其儘立腐レニ致シテ居ルト云フコトハ私モ御同感デアリマス、何卒今後サウ云フコトノナイヤウニ致シタイ爲ニ實ハ此案ヲ立案致

ルノハ是ハ故ナキコトデハナイト考ヘ

テ乙電力會社ガ電力ヲ供給シテ居ル、

相並ベテ——何處マデモ此法規ノ成立

チマシタル精神ハ、今申上ゲマスル通り、獨占ヲ原則トシテ需給ノ調節ヲ圖ル爲ニ特定供給ヲ許スト云フコトハ、此法案ノ裏面ニハ總テ附イテ廻ッテ居ルト云フコトハ明瞭ニナッテ居リマスルカラ、此點ヲ御諒承願ヒタイノデアリマス

○河西委員長 本日ハ是ニテ散會致シマス、明日續ケテ開キタイト思ヒマスガ、時間ハ未定デアリマス

午後四時五十六分散會

昭和六年三月九日印刷

昭和六年三月十日發行

衆議院事務局

印刷者 常磐印刷株式會社